RICOH

Caplio GX8

使用説明書（ソフトウェア編）

メモ

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

使用説明書の構成について

Caplio GX8 には、次の 2 種類の使用説明書が付属しています。

1.カメラの使いかたを知るには

『使用説明書（カメラ・ソフトウェア導入編）』（冊子の使用説明書）

カメラの使いかたや機能を説明しています。付属ソフトウェアをパソコンに入れる（インストール）方法についても説明しています。



2.画像をパソコンに取り込むには

『使用説明書（ソフトウェア編）』
※本書（このファイル）です。

付属のソフトウェアを使って、カメラの画像をパソコンに取り込む方法を解説しています。



3.パソコンで画像を表示するには

付属のソフトウェア ImageMixer を使うと、画像を表示したり編集したりすることができます。

ImageMixerの使いかたについては、ImageMixer の画面上に表示される「？」ボタンをクリックして表示されるマニュアルを参照してください。

なお、ImageMixer の最新の情報は、開発元の株式会社ピクセラのホームページ（http://www.imagemixer.com）を参照してください。

ソフトウェア編の読みかた

画面について

画面例は実際の表示と異なる場合があります。

用語について

本書では、静止画/動画/音声をまとめて「画像」または「ファイル」と呼んでいます。

マークについて

本書では次のマークを使って表記しています。

注意

注意事項

操作上、守っていただきたい注意事項や制限事項です。

メモ

メモ

そのページに関する補足説明や、操作について知っておくと役に立つ事柄です。

参照

参照

関連する機能のページを示しています。なお、本文中に参照ページを「→P.xx」という表記で示している場合もあります。

用語説明

用語説明

そのページで説明されている内容から、知っておいていただきたい用語をピックアップして解説しています。

目次

Chapter 1　画像をパソコンに取り込む（Windows 編）
カメラとパソコンを接続する 6
Windows XP の場合 6
Windows XP Service Pack2 での警告メッセージについて 7
警告メッセージが表示されたら 7
『ブロックする』ボタンをクリックしてしまった場合 7
『後で確認する』ボタンをクリックしてしまった場合 8
画像をパソコンに取り込む 9
Windows 98/98SE/Me/2000/XP の場合 9
RICOH Gate La の使いかた 11
起動について 11
終了するには 11
再起動するには 11
RICOH Gate La のウィンドウ 11
［オプション設定］の使いかた 13
［背景イラスト設定］の使いかた 14
SD メモリーカードから画像を取り込む 14
SD メモリーカード内の画像 14

Chapter 2　画像をパソコンに取り込む（Macintosh 編）
カメラとパソコンを接続する 16
画像をパソコンに取り込む 16
Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 の場合 17
Mac OS X 10.1.2 ～ 10.3 の場合 18
RICOH Gate La の使いかた 19
起動について 19
終了するには 19
再起動するには 19
RICOH Gate La のウィンドウ 19
［オプション設定］の使いかた 20

Chapter 3　Caplio Transfer Software の使い方
Caplio Transfer Software について 22
Ridoc Desk 2000 Lt への画像転送機能について 22
Caplio Transfer Software をご使用の前に 22
転送設定をする 24
画像を転送する 26

Chapter 4　カメラメモを付けて撮影する

Section 1 カメラメモについて

カメラメモとは 28
文字のカメラメモ 28
音声メモ 28
カメラメモの使いかたの流れ 29

Section 2 カメラメモリストを作る

カメラメモリストを作成する 31
List Editor の起動 31
List Editor の終了 31
List Editor の使いかた 31
List Editor の画面の見かた 33
カメラメモリストをカメラに転送する 34
List Editor から転送する 34
PC カードアダプターを使うときには 35

Section 3 カメラメモを付けて撮影する

カメラメモを付けて撮影する 37
カメラメモ付き撮影をやめるには 38
カメラメモを一時的に作成 / 修正して使う（一時メモ） 39
一時メモを作成する 39
一時メモを修正する 41
カメラメモを修正して一時メモを作成する 42
静止画に付けたカメラメモを再生／削除する 43
カメラメモを再生する 43
カメラメモを削除する 43
撮影した静止画にカメラメモを付けるには 44
カメラ本体で静止画に付けたカメラメモを表示確認 / 変更する 45
カメラメモを表示確認する 45
カメラメモを変更する 45
音声メモを登録（録音）／再生確認／変更する 47
音声メモを登録する 47
登録した音声メモを再生する 49
登録した音声メモを変更する 49

付録

キーボードの使い方 51
お困りのときは 53

Chapter 1
画像をパソコンに取り込む（Windows編）

ここでは、静止画や動画などの画像をパソコン（Windows）に取り込む方法について説明します。

カメラとパソコンを接続する

自動的にカメラからパソコンに画像を取り込むためには、インストールが必要です。

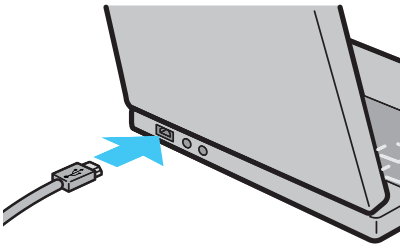
ソフトウェアをインストールせずにカメラからパソコンに画像を取り込みたいときは、カメラの［USB 接続］を［マスストレージ］に変更し、マイコンピュータで閲覧します。

インストール方法や、USB接続の変更方法については、『使用説明書（カメラ・ソフトウェア導入編）』をご覧ください。

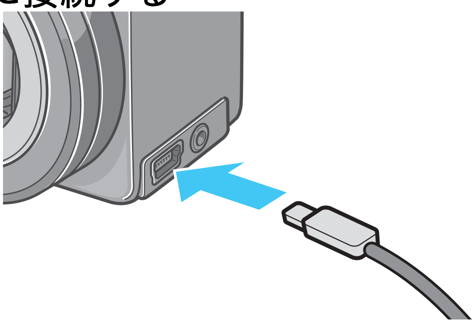
ソフトをパソコンに入れたら、カメラとパソコンを接続します。

1. カメラの電源がオフになっていることを確認する

2. 付属の USB ケーブルをパソコンの USBポートに接続する



3. USBケーブルをカメラのUSB端子に接続する

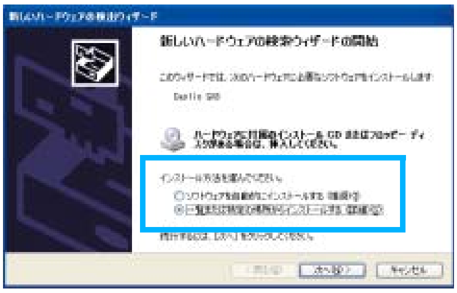


カメラの電源がオンになります。

Windows XPの場合

初めてカメラとPCをUSBケーブルで接続すると［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示されます。

1. ［ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）］を選択する



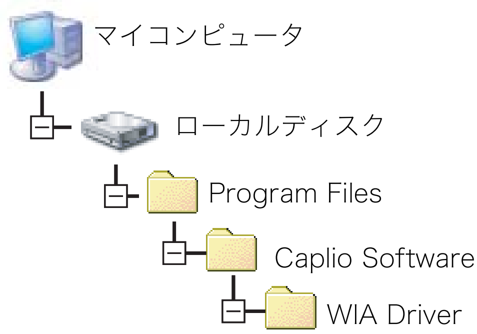
2. 付属のCaplio SoftWare CD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

自動的にWIA Driverのインストールが開始されます。なお、［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示されたときに、すでにCD-ROMがパソコンにセットされていた場合には、［次へ］を選択するとインストールが開始されます。

［Caplio GX8］画面が表示されます。

メモ

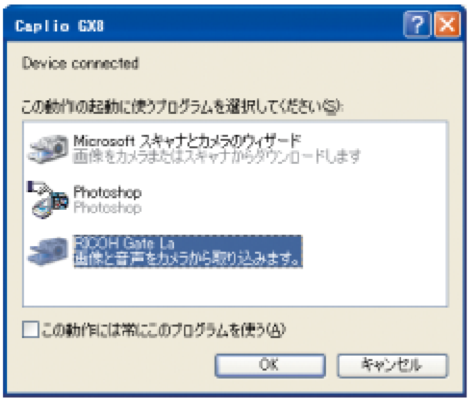
WIA Driverは、インストーラの初期設定では以下の場所にも保存されています。



3. [RICOH Gate La] を選択し、[この動作には常にこのプログラムを使う] にチェックを入れて、[OK] ボタンをクリックする

・Windows XP の「スキャナとカメラのウィザード」機能を使ってカメラから画像を取り込みたい場合には、[Microsoft スキャナとカメラのウィザード] を選択してください。

・[この動作には常にこのプログラムを使う] にチェックを付けなければ、取り込みの際に毎回 [Caplio GX8] 画面が表示されて取り込みの方法（RICOH Gate La またはスキャナとカメラのウィザード）を選択できます。



メモ

・カメラとパソコンの接続をやめるには

1. カメラの電源をオフにする
2. USB ケーブルを外す

・カメラから画像を取り込む場合には、電源に AC アダプター（別売り）を使用することをお勧めします。

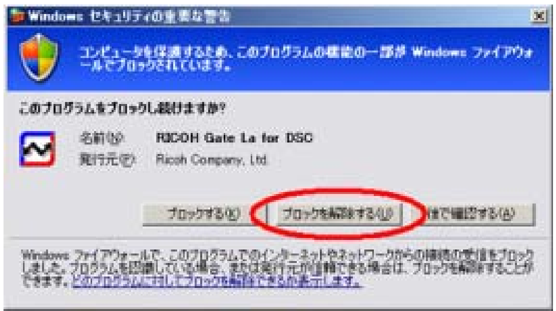
Windows XP Service Pack2 での警告メッセージについて

Windows XP Service Pack2 がインストールされたパソコンで、弊社デジタルカメラ用ソフトの使用時（ソフト起動時、USB 接続時）等に以下の警告メッセージが表示される場合があります。

こちらをご理解の上、以下を参考にして下さい。

警告メッセージが表示されたら

1. 名前、発行元を確認し『ブロックを解除する (U)』ボタンをクリックする



メモ

プログラムの名前や発行元に心当たりが無い場合ウイルスプログラムである可能性がありますので [ブロックする] をクリックしてください。ブロックすると、そのプログラムによる外部からの接続が利用できなくなります。

『ブロックする』ボタンをクリックしてしまった場合

Windows ファイアウォールの設定を確認します。

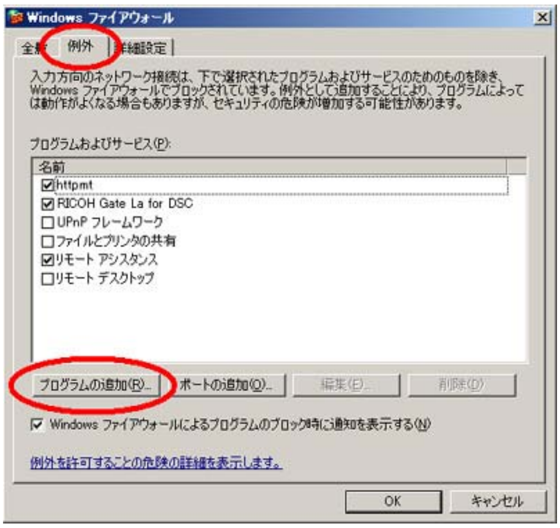
1. [スタート] → [コントロールパネル] の順にクリックする

2. [Windowsファイアウォール]をクリックする



[Windows ファイアウォール] がない場合はウィンドウ左上の〔クラシック表示に切り替える〕をクリックしてください。

3. [例外] タブをクリックする



4. [プログラムおよびサービス] 内に設定したソフトウェアがあることを確認する

5. [プログラムの追加] ボタンをクリックし、ネットワークを使うソフトウェアを追加する

『後で確認する』ボタンをクリックしてしまった場合

プログラムを起動するたびに、[Windows セキュリティの重要な警告] ウィンドウが表示されるので、その際に [ブロックを解除する] を選択できます。

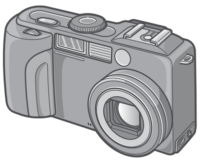
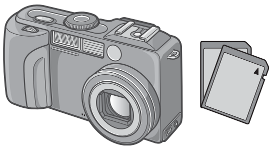
画像をパソコンに取り込む

カメラとパソコンを接続して、画像を一括してパソコンに取り込むことができます。

画像取り込みは、RICOH Gate Laで行います。

メモ

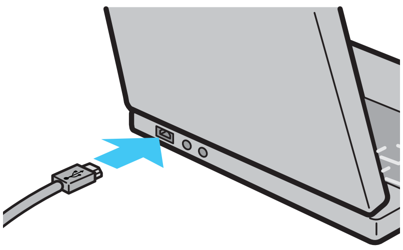
SD メモリーカードをセットしていないときには、内蔵メモリーから取り込まれ、SD メモリーカードをセットしているときには SD メモリーカードから取り込まれます。

本体のみのとき	SD メモリーカードがセットされているとき
内蔵メモリーから取り込む 	SD メモリーカードから取り込む 

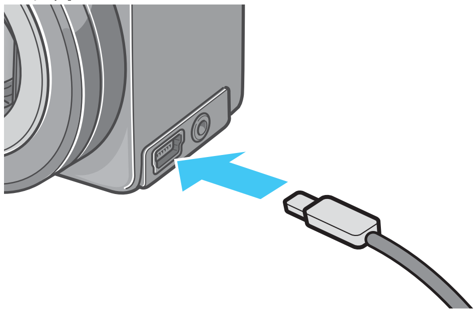
Windows 98/98SE/Me/2000/XPの場合

RICOH Gate Laは［My Documents］フォルダの中に自動的に［Caplio］フォルダを作成します。取り込んだ画像は、撮影日付ごとのフォルダに入れて［Caplio］フォルダ内に保存されます。

1. 付属の USB ケーブルをパソコンの USB ポートに接続する



2. USBケーブルをカメラのUSB端子に接続する



カメラの電源がオンになり、RICOH Gate La が起動して、RICOH Gate La のウィンドウが表示されます。



自動的に画像の転送が開始されます。

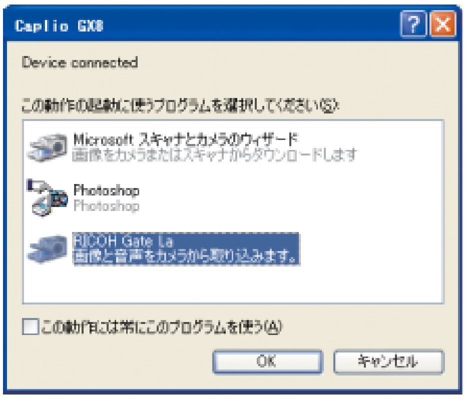
メモ

- ファイル名が重ならないように連番で保存されます。
- カメラ側で付けられたファイル名は利用しません。
- 保存フォルダが変わっても、続けて連番になります。番号の初期化はできません。
- パソコンに転送する際に、パソコンの転送先に同じファイル名のファイルがある場合は、上書きを避けるために新しいファイル名に置き換えられて保存されます。
- Ricoh Gate La を通じてパソコンに転送した場合は、[CARD連続No.] を ON にしていても、ファイル名は「RIMG****.jpg」（****は番号）で保存されます。
- 自動的に画像が転送されない場合は、RICOH Gate La の［オプション設定］ダイアログボックスで［接続時自動保存を行う］にチェックマークを付けてください。

参照

RICOH Gate La の［オプション設定］ダイアログボックスについて→P.13

もし、以下の画面が表示されたら、[RICOH Gate La] を選択し、[この動作には常にこのプログラムを使う] にチェックを入れて、[OK] ボタンをクリックしてください。



メモ

- RICOH Gate Laを終了する前に、カメラの電源をオフにしたり、USBケーブルを抜いたりすると、RICOH Gate Laのウィンドウは最小化して Windows のタスクバー上にアイコンとして表示されます。アイコンをクリックすると、再びウィンドウが表示されます。
- もし、[MENU] ボタンをクリックして、[終了] を選択して RICOH Gate Laを終了させた後、再度RICOH Gate Laを起動させたい場合には、次のように操作してください。[スタート] メニューから [プログラム] → [Caplio Software] → [RICOH Gate La] を選択する
- 画像の取り込み先（保存先）フォルダは変更することができます。

参照

- 保存先フォルダを変更するには→P.13
- RICOH Gate Laの起動について→P.11
- RICOH Gate Laの画面について→P.11

RICOH Gate Laの使いかた

RICOH Gate La は、カメラからパソコンに画像を一括して取り込む働きをするソフトウェアです。
カメラとパソコンを USB ケーブルで接続するだけで、自動的にパソコンに画像を取り込みます。
RICOH Gate La のウィンドウでは、接続時自動保存や画像の取り込み先（保存先）など、さまざまな設定ができます。

メモ

このとき、取り込まれる画像は、まだパソコンに取り込んだことのない画像のみです。一度取り込んだ画像を再度取り込むには、オプション設定の［保存時、同じ画像は保存しない］を変更してください。（→P.13）

起動について

RICOH Gate La は、Caplio Software をインストールするとインストールされます。

カメラとパソコンを USB ケーブルで接続すると、自動的に起動し、画像を取り込みます。

終了するには

RICOH Gate Laを終了するには、次の2とおりの操作方法があります。

- RICOH Gate Laウィンドウの［MENU］ボタンをクリックしてメニューを表示し、［終了］を選択する（「RICOH Gate Laのウィンドウ」を参照）
- タスクバーの RICOH Gate La のアイコンを右クリックしてメニューを表示し、［終了］を選択する

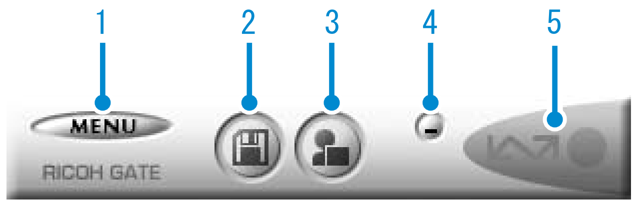
再起動するには

一度終了した後、RICOH Gate La を再度起動したい場合には、次のように操作します。

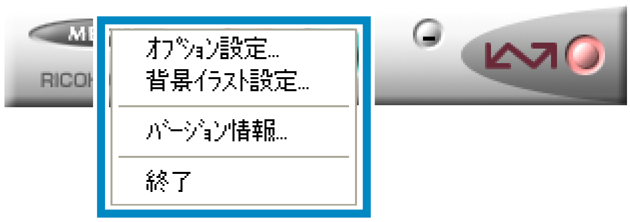
- ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（または［プログラム］）→［Caplio Software］→［RICOH Gate La］を選択する

RICOH Gate Laのウィンドウ

RICOH Gate La が起動すると、パソコンの画面上に次のような RICOH Gate La のウィンドウが表示されます。



1. ［MENUボタン］
   クリックすると次のメニューが表示されます。



［オプション設定］	：	画像の保存先や、保存後およびアプリケーションボタンを押したときに起動するアプリケーションを設定します。（→ P.13）
［背景イラスト設定］		RICOH Gate La のウィンドウの背景デザインを変更します。（→ P.14）
［バージョン情報］		RICOH Gate La のバージョンを表示します。
［終了］		RICOH Gate La を終了します。

2. ［保存ボタン］
   クリックするとカメラから画像を取り込みます。

注意

カメラの液晶モニターに、「接続待ち・・・ダイレクトプリントをおこなう時には ADJ. ボタンを押してください」と表示されている間は、［保存ボタン］を押さないでください。

3. ［アプリケーションボタン］
   オプション設定で登録されたアプリケーションを起動します。

4. ［最小化ボタン］

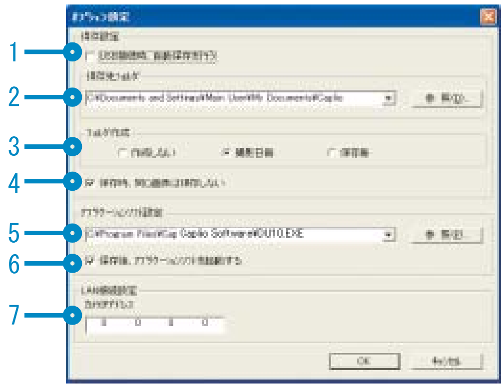
ウィンドウを最小化して Windows のタスクバー上にアイコン表示します。アイコンをクリックすると、ウィンドウが表示されます。

5. ［インジケータ］

カメラが USB ケーブルで接続されていると、［インジケータ］が点灯します。このとき［インジケータ］にマウスポインタを合わせると、「カメラ接続中」と表示されます。接続されていないときには、［インジケータ］はグレー表示され、マウスポインタを合わせても、「カメラ接続中」は表示されません。

[オプション設定]の使いかた

RICOH Gate Laのウィンドウにあるボタンで表示したメニューから[オプション設定]を選ぶと、[オプション設定]ダイアログボックスが表示されます。

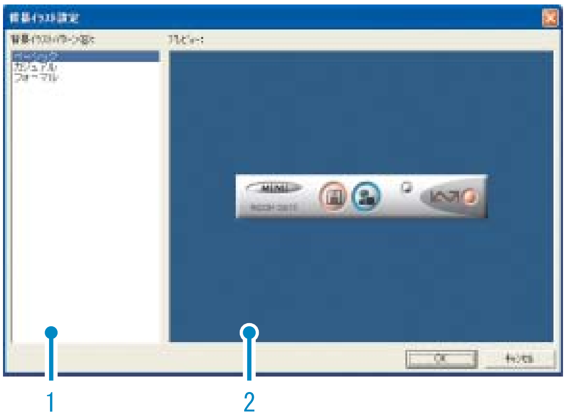


項目		説明	初期値
1.	[接続時自動保存を行う]	チェックマークを付けると、カメラとパソコンが USB ケーブルで接続されたときに、自動的に画像がパソコンに取り込まれ、保存されます。 チェックマークを消すと、カメラを USB ケーブルで接続しても画像は自動的に取り込まれません。このときは、RICOH Gate La を起動して、[保存] ボタンをクリックして取り込みます。	自動保存を行う
2.	[保存先フォルダ]	画像を保存するフォルダを指定します。あらかじめ[My Documents] フォルダ内の[Caplio]フォルダに設定されているので、変更したいときには、[参照]ボタンをクリックしてダイアログボックスを表示し、指定したいフォルダを選択します。	――――
3.	[フォルダ作成]	フォルダの作成方法を指定します。 [作成しない] 取り込んだ画像を、すべて 2. で指定されているフォルダ内に保存します。 [撮影日毎] フォルダ名を撮影日にしてフォルダを新規作成し、同じ日に撮影した画像を同じフォルダに保存します。 作成されるフォルダ名は、「撮影日付」になります。 例) 2005 年 5 月 1 日に撮影した場合 : [20050501] フォルダ [保存毎] 保存毎にフォルダを新規作成して、画像を保存します。1 日に複数回保存を行った場合には、そのたびに別のフォルダに保存されます。 作成されるフォルダ名は、「保存日付+アンダーバー+ 3 桁の連番」になります。 例) 2005 年 5 月 1 日に 2 回保存した場合 : [20050501_001]フォルダ、[20050501_002]フォルダ	撮影日毎
4.	[保存時、同じ画像は保存しない	チェックマークを付けると、一度カメラからパソコンへ取り込みを行った画像は取り込みません。[フォルダ作成]の設定を[作成しない]または[撮影日毎]にしたときのみ指定できます。 この機能を正しく働かせるには、カメラの日時設定を正しく設定する必要があります。 チェックマークを消すと、一度取り込みを行った画像も再度取り込みます。	保存時、同じ画像は保存しない
5.	[アプリケーションソフト設定]	保存後にアプリケーションを起動したい場合に、アプリケーション名を指定します。設定したいときには、[参照]ボタンをクリックしてダイアログボックスを表示し、指定したいアプリケーションを選択します。	――――
6.	[保存後、アプリケーションを起動する]	チェックマークを付けると、保存後にアプリケーションを起動します。 チェックマークを消すと、起動しません。	保存後、アプリケーションを起動する
7.	[カメラ IP アドレス]	本カメラでは使用しません。他の Caplio シリーズのカメラをお使いの場合に使用します。詳しくは、そのカメラの使用説明書を参照してください。	0.0.0.0

［背景イラスト設定］の使いかた

3種類のイラストパターンから、RICOH Gate Laのウィンドウの背景イラストを選択できます。

RICOH Gate Laのウィンドウにある[MENU]ボタンで表示したメニューから［背景イラスト設定］を選ぶと、［背景イラスト設定］ダイアログボックスが表示されます。



1. ［背景イラストパターン］
   3種類のイラストパターンから、使いたいパターンを選択します。







2. ［プレビュー］
   ［背景イラストパターン］で選択したパターンが表示され、確認できます。

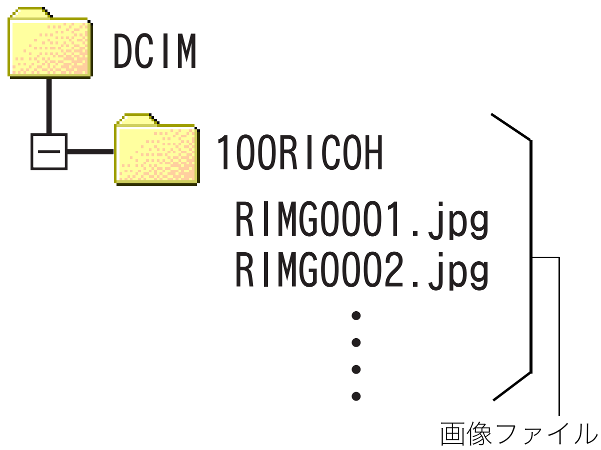
SDメモリーカードから画像を取り込む

PCカードスロットやカードリーダーを使って、SDメモリーカードからパソコンへ画像を取り込むことができます。

SDメモリーカードをPCカードスロットやカードリーダーにセットする場合には、PCカードアダプターFM-SD53（別売り）が使用できます。

SDメモリーカード内の画像

SDメモリーカードには、図のような階層で画像が記録されています。



メモ

カードリーダーがSDメモリーカード対応（そのままセットできる）であれば、PCカードアダプターは必要ありません。

用語説明

カードリーダー

パソコンに接続して、カードの内容を読みとるための機器です。PCカードをセットするタイプの他に、SDメモリーカードがそのままセットできる各種のカードに対応したカードリーダーがあります。

Chapter 2
画像をパソコンに取り込む（Macintosh編）

ここでは、静止画や動画などの画像をパソコン（Macintosh）に取り込む方法について説明します。

カメラとパソコンを接続する

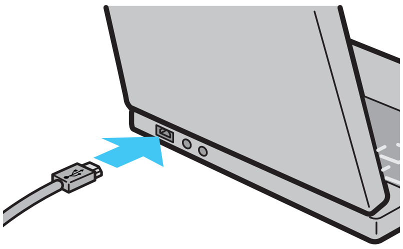
自動的にカメラからパソコンに画像を取り込むためには、インストールが必要です。

ソフトウェアをインストールせずにカメラからパソコンに画像を取り込みたいときは、カメラの［USB 接続］を［マスストレージ］に変更し、マイコンピュータで閲覧します。

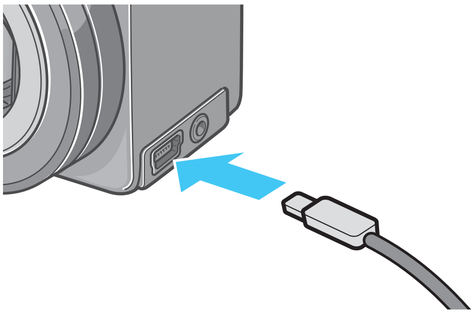
インストール方法や、USB接続の変更方法については、『使用説明書（カメラ・ソフトウェア導入編）』をご覧ください。

ソフトをパソコンに入れたら、カメラとパソコンを接続します。

1. カメラの電源がオフになっていることを確認する
2. 付属のUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する



3. USBケーブルをUSB端子に接続する



カメラの電源がオンになります。

メモ

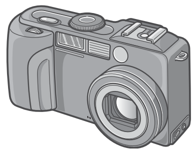
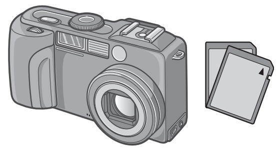
- カメラとパソコンの接続をやめるには
  1.カメラの電源をオフにする
  2.USBケーブルを外す
- カメラから画像を取り込む場合には、電源に AC アダプター（別売り）を使用することをお勧めします。

画像をパソコンに取り込む

カメラとパソコンの接続ができたら、画像をパソコンに取り込むことができます。

メモ

取り込み時には、次の記録先からパソコンに取り込まれます。

本体のみのとき	SD メモリーカードがセットされているとき
内蔵メモリーから取り込む 	SD メモリーカードから取り込む 

ご使用になっているパソコン環境によって、取り込み方法が下記の表のように異なります。参照ページの手順にしたがって取り込みを行ってください。

Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 の場合	RICOH Gate La を使用して取り込みます。	→ P.17
Mac OS X 10.1.2 ～ 10.3 の場合	マウンターを使って取り込みます。	→ P.18

Mac OS 8.6～9.2.2の場合

Mac OS 8.6, Mac OS 9.1未満 の場合は、起動ディスク[Macintosh HD]のルートディレクトリに[Caplio]フォルダを作成します。

Mac OS 9.1 ～ 9.2.2 の場合は、起動ディスク[Macintosh HD]内の[書類]フォルダの中に自動的に[Caplio]フォルダを作成します。

1. カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する

カメラの電源がオンになり、RICOH Gate La が起動して、RICOH Gate La のウィンドウが表示されます。



自動的に画像の転送が開始されます。

2. [ファイル] メニューを表示し、[終了] を選択する

RICOH Gate Laが終了します。

自動的に画像が転送されない場合は、RICOH Gate Laの［オプション設定］ダイアログボックスで［接続時自動保存を行う］にチェックマークを付けてください。

参照

RICOH Gate La の［オプション設定］ダイアログボックスについて→P.20

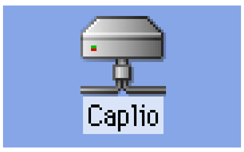
■マウンターを使う場合

マウンターを使って画像を転送することもできます。

1. カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する

カメラの電源がオンになります。

SDメモリーカードがない場合は[Caplio]アイコンが表示され、カメラの内蔵メモリーに記録されている画像ファイルをご覧いただくことができます。



SDメモリーカードがある場合は[Caplio.SD]アイコンが表示され、カメラにセットされたSDメモリーカードに記録されている画像ファイルをご覧いただくことができます。



2. 表示されたアイコンをダブルクリックする

通常のドライブと同じように扱うことができます。アイコンをダブルクリックすると、[DCIM] というフォルダが表示され、そのフォルダ内に [100RICOH] というフォルダが表示されます。[100RICOH] フォルダの中にカメラで撮影した画像ファイルがあります。

ファイルをドラッグアンドドロップし、ハードディスクにコピーしてご使用ください。

注意

マウンターを使う場合、SD メモリーカードへの書き込みはできません。

メモ

- カメラを接続しない状態で RICOH Gate La を起動したい場合には、システムフォルダ：コントロールパネルフォルダ内の[RICOH Gate La]アイコンをダブルクリックします。
- RICOH Gate Laで取り込んだ画像は、撮影日付ごとのフォルダに入れて[Caplio]フォルダ内に保存されます。マウンターでは任意の場所に取り込むことができます。

参照

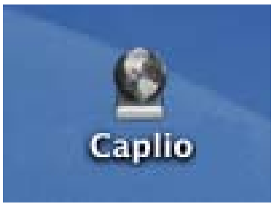
保存先フォルダを変更するには→P.20

Mac OS X 10.1.2～10.3の場合

1. カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する

カメラの電源がオンになります。

SDメモリーカードがない場合は[Caplio]アイコンが表示され、カメラの内蔵メモリーに記録されている画像ファイルをご覧いただくことができます。



SDメモリーカードがある場合は[Caplio.SD]アイコンが表示され、カメラにセットされたSDメモリーカードに記録されている画像ファイルをご覧いただくことができます。



2. 表示されたアイコンをダブルクリックする

通常のドライブと同じように扱うことができます。アイコンをダブルクリックすると、[DCIM] というフォルダが表示され、そのフォルダ内に [100RICOH] というフォルダが表示されます。[100RICOH] フォルダの中にカメラで撮影した画像ファイルがあります。

ファイルをドラッグアンドドロップし、ハードディスクにコピーしてご使用ください。

RICOH Gate Laの使いかた

RICOH Gate La は、カメラからパソコンに画像を一括して取り込む働きをするソフトウェアです。

カメラとパソコンを USB ケーブルで接続するだけで、自動的にパソコンに画像を取り込みます。

RICOH Gate La のウィンドウでは、接続時自動保存や画像の取り込み先（保存先）など、さまざまな設定ができます。

起動について

RICOH Gate La は、カメラとパソコンを USB ケーブルで接続すると、自動的に起動し、画像を取り込みます。

終了するには

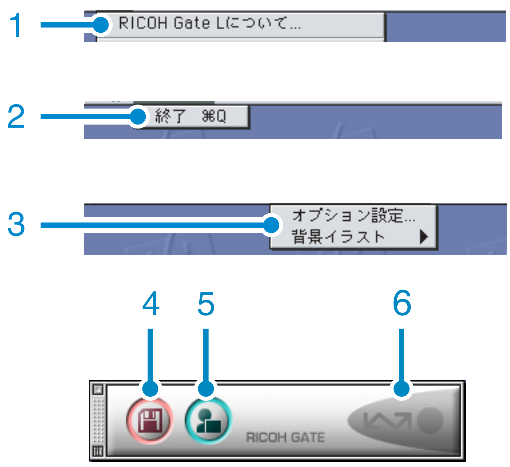
RICOH Gate La を終了するには、RICOH Gate Laのメニューバーから［終了］を選択します。

再起動するには

一度終了した後、RICOH Gate La を再度起動したい場合には、システムフォルダ内のコントロールパネルフォルダにある［RICOH Gate La］アイコンをダブルクリックします。

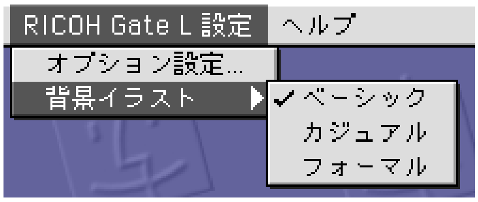
RICOH Gate Laのウィンドウ

RICOH Gate La が起動すると、画面上に RICOH Gate La のメニューバーと次のようなウィンドウが表示されます。



1. ［RICOH Gate Laについて］
RICOH Gate Laのバージョンを表示します。
2. ［終了］
RICOH Gate Laを終了します。
3. ［オプション設定］
画像の保存先や、保存後およびアプリケーションボタンを押したときに起動するアプリケーションを設定します。（→P.20）

   ［背景イラスト］
選択するとサブメニューが表示されるので、RICOH Gate Laのウィンドウの背景デザインを変更できます。

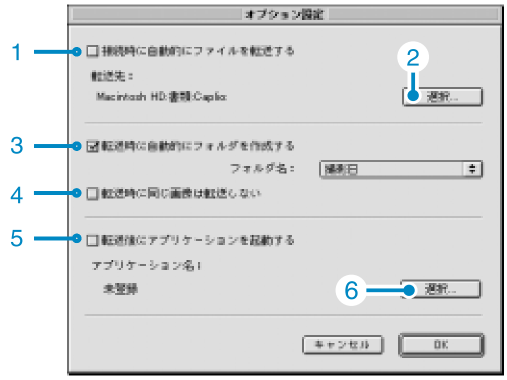


サブメニューの図

4. ［保存ボタン］
クリックするとカメラから画像を取り込みます。
5. ［アプリケーションボタン］
オプション設定で登録されたアプリケーションを起動します。
6. ［インジケータ］
カメラが USB ケーブルで接続されていると、［インジケータ］が点灯します。

[オプション設定] の使いかた

[RICOH Gate La 設定] メニューから [オプション設定] を選ぶと、[オプション設定] ダイアログボックスが表示されます。



項目		説明	初期値
1.	[接続時自動保存を行う]	チェックマークを付けると、カメラとパソコンが USB ケーブルで接続されたときに、自動的に画像がパソコンに取り込まれ、保存されます。 チェックマークを消すと、カメラを USB ケーブルで接続しても画像は自動的に取り込まれません。このときは、RICOH Gate La を起動して、[保存] ボタンをクリックして取り込みます。	自動的にファイルを転送する
2.	[選択]	画像を保存するフォルダを指定します。 Mac OS 8.6, Mac OS 9.1 未満 の場合は、起動ディスク [Macintosh HD] のルートディレクトリの [Caplio] フォルダに、Mac OS 9.1 ～ 9.2.2 の場合は、起動ディスク [Macintosh HD] 内の [書類] フォルダの中の [Caplio] フォルダに設定されているので、変更したいときには、[選択] ボタンをクリックしてダイアログボックスを表示し、指定したいフォルダを選択します。	————
3.	[フォルダ作成]	作成方法を指定します。 [作成しない] 取り込んだ画像を、すべて 2. で指定されているフォルダ内に保存します。 [撮影日] フォルダ名を撮影日にしてフォルダを新規作成し、同じ日に撮影した画像を同じフォルダに保存します。 作成されるフォルダ名は、「撮影日付」になります。 例) 2005 年 5 月 1 日に撮影した場合：[20050501] フォルダ [転送日＋転送回数] 保存毎にフォルダを新規作成し、画像を保存します。 例) 2005 年 5 月 1 日に 2 回保存した場合： [20050501_001] フォルダ、[20050501_002] フォルダ	撮影日
4.	[保存時、同じ画像は保存しない	チェックマークを付けると、一度カメラからパソコンへ取り込みを行った画像は取り込みません。[フォルダ作成] の設定を [作成しない] または [撮影日毎] にしたときのみ指定できます。 この機能を正しく働かせるには、カメラの日時設定を正しく設定する必要があります。 チェックマークを消すと、一度取り込みを行った画像も再度取り込みます。	同じ画像は保存しない
5.	[転送後にアプリケーションを起動する]	チェックマークを付けると、保存後にアプリケーションを起動します。 チェックマークを消すと、起動しません。	転送後にアプリケーションを起動しない
6.	[選択]	保存後にアプリケーションを起動したい場合に、アプリケーション名を指定します。[選択] ボタンをクリックしてダイアログボックスを表示し、指定したいアプリケーションを選択します。	————

Chapter 3
Caplio Transfer Softwareの使い方

Caplio Transfer Software は、画像をパソコンのフォルダに分類保存したり、RidocDesk2000Ltに登録するためのソフトウェアです。

ここではCaplio Transfer Softwareの使いかたについて説明します。

参照

Caplio Transfer Softwareのインストールについて→『使用説明書（カメラ・導入編）』

Caplio Transfer Softwareについて

Caplio Transfer Softwareには、次の2種類の機能があります。

カメラメモ分類保存機能：

画像をカメラメモの内容によって分類し、パソコンのフォルダに転送します。

Ridoc Desk 2000 Ltへの画像転送機能：

カメラ内の画像をパソコンに転送し、Ridoc Desk 2000 Ltに登録します。

参照

Caplio Transfer Software のインストール方法について→『使用説明書（カメラ・導入編）』

Ridoc Desk 2000 Lt への画像転送機能について

画像転送機能は、カメラ内の画像をパソコンに転送し、Ridoc Desk 2000 Ltの個人キャビネット / ワークフォルダに登録する機能です。

メモ

付属ソフト Ridoc Desk 2000 Lt がインストールされている場合に使用できます。また、Ridoc Desk 2000（Ver.3.0.0.0以降）をご利用になっている場合は、カメラ内の画像を Ridoc Desk 2000 に登録することもできます。

注意

- Ridoc Desk 2000 Lt への画像転送機能を使用するには、Ridoc Desk 2000 Ltまたは Ridoc Desk 2000 が必要です。Ridoc Desk 2000 Ltは、Caplio Software CD-ROM に収められています。Ridoc Desk 2000 Ltのインストール方法は、『使用説明書（カメラ・導入編）』を参照してください。
- Ridoc Desk 2000 Lt で、カメラメモの検索、印刷を行う場合は、AutoDocument リンクで取り込みます。詳しくは Ridoc Desk 2000 Ltの「AutoDocument リンクガイド」、ヘルプを参照してください。

Caplio Transfer Software をご使用の前に

■Windows 98/98 SE/Me/2000の場合

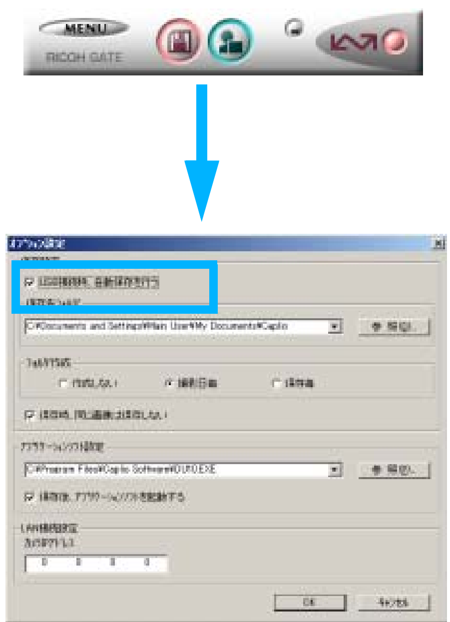
Caplio Software CD-ROM には、RICOH Gate La（画像取り込みソフト）が収められています。

RICOH Gate La の初期設定では、カメラをパソコンに接続すると RICOH Gate La がカメラの画像を自動的にパソコンに取り込む設定になっています。

これは、RICOH Gate LaのMENUボタンで表示したメニューで［オプション設定］－［保存設定 ］を選択して表示されるダイアログボックスの［USB 接続時、自動保存を行う］チェックボックスが「ON」になっている（チェックマークが付いている）ためです。

Caplio Transfer Software をインストールすると、［USB　接続時、自動保存を行う］チェックボックスの設定が「OFF」（チェックマークが消える）に変更されます。

もし、RICOH Gate La を優先的にご使用になりたい場合は、［USB 接続時、自動保存を行う］チェックボックスを［ON］に手動で設定変更してください。



Caplio Transfer Software を優先的にご使用になる場合は、［USB 接続時、自動保存を行う］チェックボックスは「OFF」のままにしておいてください。

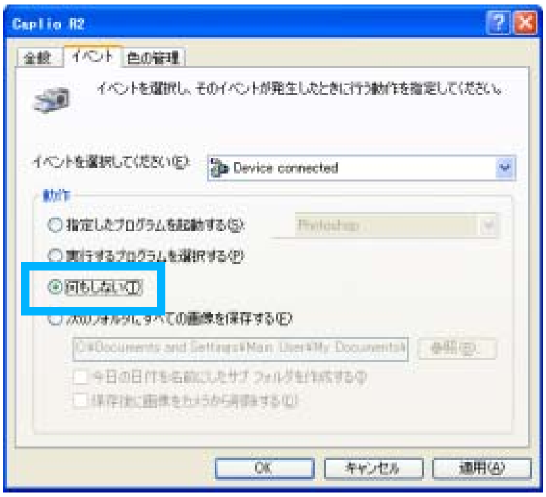
■Windows XPの場合

Caplio Software CD-ROMには、WIAドライバー（画像取り込み機能）が収められています。

WIAドライバーの初期設定では、カメラをパソコンに接続するとカメラから画像を取り込むための［スキャナとカメラのウィザード］画面が自動的に表示されます。

Caplio Transfer Softwareを優先的にご使用になりたい場合は、［スキャナとカメラのウィザード］画面が自動的に表示されないようにするために、次のように操作してください。

1. カメラをパソコンに接続した状態で、［マイコンピュータ］を開く
2. カメラのマーク（［Caplio GX8］アイコン）を右クリックしてメニューを表示し、［プロパティ］を選択する
3. ［Caplio GX8のプロパティ］画面で［イベント］タブをクリックしてイベントページを表示し、［動作］で［何もしない］を選択する



4. ［OK］ボタンをクリックする

注意

USBケーブルで接続した場合の画像転送について

- Caplio Transfer Softwareでの画像の取り込み中（「データを取得中です」が表示されている間）は、カメラの電源をオフにしないように、また、USBケーブルを抜かないようにしてください。
- Caplio Transfer Softwareでの画像の取り込み中は、RICOH Gate Laでの画像の取り込みは行わないでください。
- RICOH Gate Laでの画像の取り込み中は、Caplio Transfer Softwareでの画像の取り込みは行わないでください。
- Ridoc Desk 2000 Ltのへの画像転送機能を用いて、カメラのデータをRidoc Desk 2000 Ltに表示しているときは、Caplio Transfer Softwareでの画像の取り込みは行わないでください。
- Caplio Transfer Softwareでの画像の取り込み中は、Ridoc Desk 2000 Ltのへの画像転送機能を用いて、カメラのデータをRidoc Desk 2000 Ltに表示しないようにしてください。
- パソコンに接続できる弊社デジタルカメラは、1台のみです。複数台の弊社デジタルカメラを同時にパソコンに接続しないようにしてください。
- ファイルサイズが大きい音声ファイルの取り込みは、パソコンの未使用メモリサイズに依存します。パソコンの未使用メモリサイズによっては、取り込みができない場合があります。

転送設定をする

Caplio Transfer Software で画像をパソコンに転送するには、転送のための設定が必要です。

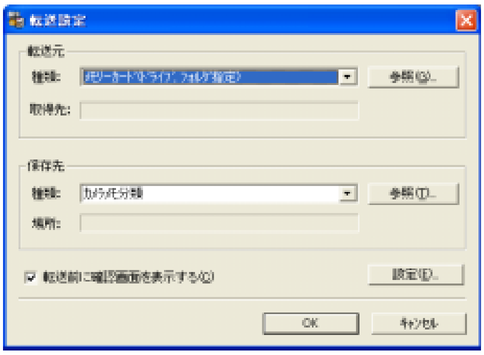
1. カメラまたはPCカードアダプター（別売り）に SD メモリーカードをセットする

カメラの内蔵メモリーからの転送の場合には、この操作は必要ありません。

2. パソコンにカメラまたはPCカードアダプター（別売り）を接続する

3. Windowsのスタートメニューから、[プログラム] → [Caplio Transfer Software] → [設定] を選択する

[転送設定] ダイアログボックスが表示されます。



4. [転送元] で [種類] を選択する

次の２種類から選択できます。

- RICOH Caplio：カメラ（内蔵メモリーまたは SD メモリーカード）内の画像を転送する場合
- メモリーカード（ドライブ、フォルダ指定）：PC カードアダプター（別売り）を使用して SD メモリーカード内の画像を転送する場合。パソコン内のフォルダを指定することもできます。

5. 手順４で「メモリーカード（ドライブ、フォルダ指定）」を選択した場合には、[参照] ボタンをクリックして、フォルダを指定する

6. [保存先] で [種類] を選択する

次の２種類から選択できます。

- カメラメモ分類：指定したフォルダに画像を転送保存します。
- Ridoc Desk 2000：（Ridoc Desk 2000 Lt もしくは Ridoc Desk 2000 がインストールされている場合のみ選択できる）Ridoc Desk 2000 Lt の個人キャビネット / ワークフォルダへ画像を転送保存します。

7. 手順６で「カメラメモ分類」を選択した場合には、[参照] ボタンをクリックして、保存先のフォルダを指定する

8. 必要に応じて [転送前に確認画面を表示する] にチェックマークを付ける

9. [設定] ボタンをクリックする

[設定情報] ダイアログボックスが表示されます。

[設定情報の一覧] で項目を選択し、[変更] ボタンをクリックすると、一覧に表示された項目の設定変更ができます。

■転送元が「RICOH　Caplio」、保存先が「Ridoc Desk 2000」の場合

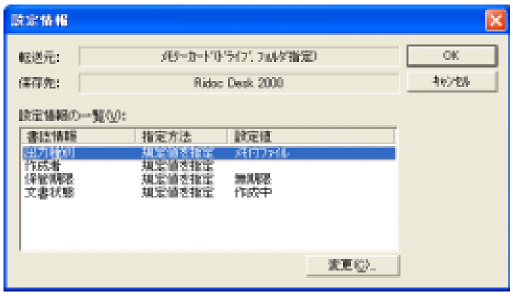


［設定情報の一覧］で項目を選択し、［変更］ボタンをクリックすると、次の設定ができます。

上書き保存	一度取り込みを行った画像を再度取り込むかどうか選択できます。 「同じ画像は保存しない」を選択した場合、一度取り込みを行った画像は取り込みません。
作成者	登録文章の作成者を次のいずれかから選択します。 ・規定値を指定 ・取得先を指定
保管期限	文章の保管期限を次のいずれかから選択します。 ・無期限 ・期限あり（保管日数を指定）
文書状態	文章の作成状態を次のいずれかから選択します。 ・作成中 ・完成

設定を行ったら、手順10へ進みます。

■転送元が「メモリーカード（ドライブ、フォルダ指定）」、保存先が「Ridoc Desk 2000」の場合



出力種別	カメラメモ付き画像のみを転送するか、すべてのファイルを転送するか選択できます。
作成者	登録文章の作成者を次のいずれかから選択します。 ・規定値を指定 ・取得先を指定
保管期限	文章の保管期限を次のいずれかから選択します。 ・無期限 ・期限あり（保管日数を指定）
文書状態	文章の作成状態を次のいずれかから選択します。 ・作成中 ・完成

設定を行ったら、手順10へ進みます。

10. ［OK］ボタンをクリックする

カメラメモ付き画像の転送設定が完了し、画像を転送できます。「画像を転送する」（P.26）へ進んでください。

メモ

同じ設定で転送する場合には、転送のたびに設定する必要はありません。

参照

・転送の操作について→P.26

画像を転送する

はじめてCaplio Transfer Softwareのカメラメモ分類機能を使用する場合には、前述のように転送設定を行ってから転送しますが、一度転送の設定を済ませ、設定内容を変更する必要がない場合には、設定を行わずに転送のみ行うことができます。

設定内容を変更したいときには、「転送設定をする」で説明した方法で、設定を行ってから転送してください。

1. カメラまたはPCカードアダプター（別売り）にSDメモリーカードをセットする

カメラの内蔵メモリーからの転送の場合には、この操作は必要ありません。

2. パソコンとカメラまたはPCカードアダプター（別売り）を接続する

3. Windowsのスタートメニューから、［プログラム］→［Caplio Transfer Software］→［転送］を選択する

［転送設定］ダイアログボックスで［転送前に確認画面を表示する］にチェックマークを付けていない場合には、画像が転送されます。

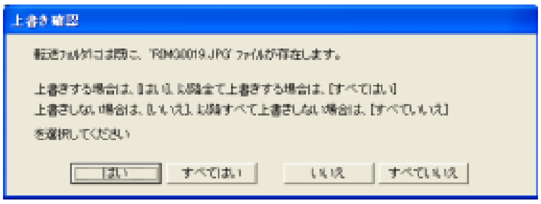
チェックマークを付けた場合には、次のダイアログボックスが表示されます。



4. ［転送］をクリックする

画像が転送されます。

［設定情報］ダイアログボックスの設定によっては、転送先フォルダに同じ名前のファイルが存在した場合に、次のメッセージが表示されますので、いずかのボタンをクリックしてください。



Chapter 4
カメラメモを付けて撮影する

Section 1
カメラメモについて

静止画には、カメラメモ（撮影内容などに関する情報）を付けて撮影することができます。

ここでは、カメラメモについて説明します。

注意

・必ずカメラ本体の日時を設定してください。
・カメラメモ機能を使うには、SDメモリーカードが必要です。

メモ

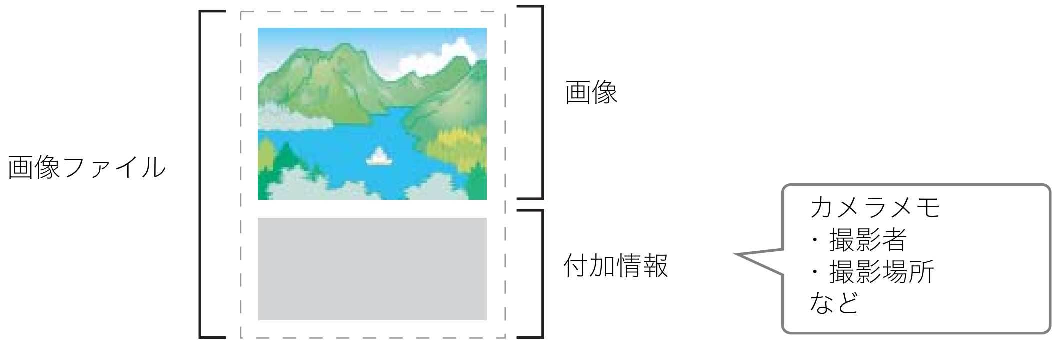
パソコンで静止画に付けたカメラメモを表示確認/修正するには

Ridoc Desk 2000 Ltを使うと、静止画に付けたカメラメモを表示、修正、検索したり、静止画に付けた音声メモを再生したりすることができます。

詳しくは、Ridoc Desk 2000 Ltの「はじめてガイド」、ビューアのヘルプを参照してください。

カメラメモとは

カメラで撮影した画像ファイルには、情報を付加できる領域があります。この領域を使って静止画に関するメモを付加できるようにしたのが、カメラメモ機能です。



カメラメモを付加することによって、静止画の識別や検索、分類が簡単に行えます。

カメラメモには、文字のメモと音声のメモの2種類があります。

なお、動画、音声には、カメラメモを付けることはできません。

文字のカメラメモ

文字のカメラメモは、パソコンで一覧（カメラメモリスト）を作成して、カメラに転送し、撮影時に使いたいものを選択します。

カメラメモリストに登録されていない情報をメモに使いたいときには、カメラで一時的にメモを作成することもできます。このカメラメモを「一時メモ」といいます。

また、一時メモを使って、カメラメモリストの内容を一時的に修正して使うこともできます。



カメラメモリスト
カメラメモには５種類の分類項目の下に、カメラメモが最大50個まで登録できます。

例：商品情報のカメラメモ

分類項目
・生産年月
・生産地
・銘柄
・生産者
・サイズ

カメラメモ
青森県
岩手県
長野県
：
：

音声メモ

カメラメモリストには、カメラで録音した音声をカメラメモとして登録することができます。このカメラメモを「音声メモ」といいます。

メモ

・一時メモと音声メモは、カメラの電源をオフにすると、消去されてしまいます。

・付属ソフトのCaplio Transfer Softwareを使うと、カメラ内の静止画をカメラメモの内容によって分類し、パソコンのフォルダに転送、保存することができます。詳しくは、P.22を参照してください。

カメラメモの使いかたの流れ

1 パソコンでカメラメモリストを作って、カメラに転送する（→P.31）

・付属ソフトList Editorを使って、カメラメモを登録したカメラメモリストを作成します。
・作成したカメラメモリストは、パソコンにカメラメモリストファイル（*.mta）として保存します。
・SDメモリーカードをカメラにセットして、USBケーブルでパソコンとカメラを接続し、カメラメモリストをカメラ内のメモリーカードに転送します。

※PCカードアダプター（別売り）等を利用して、パソコンから直接SDメモリーカードにカメラメモリストをコピーして使うこともできます。

※List Editorは、カメラの［USB接続］が［マスストレージ］のときには使用できません。

2 カメラメモ付き撮影をする（→P.37）

・カメラメモリストの保存されたSDメモリーカードをカメラにセットして、撮影モードでカメラメモリストを表示し、使いたいカメラメモを選択して、撮影します。（→P.37）
・音声記録機能を使って、音声メモを作成し、静止画に付けることができます。（→P.54）
・一時的にメモを作成し（一時メモ）、静止画に付けることができます。（→P.39）
・撮影済みの静止画に後からカメラメモを付けることができます。（→P.44）
・静止画に付けたカメラメモを別のカメラメモに変更することができます。（→P.45）

3 静止画をパソコンへ転送する（→P.5、P.15）

カメラとパソコンを付属のUSBケーブルを使って接続し、パソコンに静止画を転送します。

Ridoc Desk 2000 Ltがインストールされている場合は、Auto Document リンクで取り込みます。
詳しくは、Ridoc Desk 2000 Ltの「Auto Document リンクガイド」、ヘルプをご覧ください。

Ridoc Desk 2000 LtとRicoh Gate La が両方インストールされている場合は、Ricoh Gate Laの［オプション設定］（P.20）にある［USB接続時自動保存を行う］のチェックをはずして下さい。
カメラのUSB接続設定がマスストレージでお使いの場合は、「Ricoh Gate La」 や「Auto Document リンク」は必要ありません。

※PCカードアダプター（別売り）等を利用して、SDメモリーカードに記録された静止画をパソコンに取り込むこともできます。

4 付属ソフトRidoc Desk 2000 Ltで、カメラメモを検索、編集、印刷する

付属のソフトRidoc Desk 2000 Ltでカメラメモを検索、編集、印刷、音声メモの再生が行えます。
詳しくは、Ridoc Desk 2000 Ltの「はじめてガイド」、ビューアのヘルプを参照してください。

Section 2
カメラメモリストを作る

ここでは、カメラメモリストの作成方法について説明します。

カメラメモリストを作成する

カメラメモリストは、付属ソフトList Editorで作成します。

カメラメモリストを作成するときには、まず分類項目を作成し、その中にカメラメモを登録していきます。

分類項目は、最大5項目まで作成できます。

分類項目内には、最大50個までのカメラメモが登録できます。

メモ

- 他のアプリケーションで作成したCSV形式のカメラメモファイルをList Editorに読み込んでSDメモリーカードに保存し、カメラで使用することもできます。
- CSV 形式のカメラメモファイルを List Editorに読み込むには、List Editorの［ファイル］メニューで［開く］を選択してファイル名を指定します。

List Editorの起動

1. Windowsの［スタート］メニューから起動する

［スタート］メニューから［プログラム］→［Caplio Software］→［List Editor］を選択すると起動できます。

List Editorの終了

1. ウィンドウの右上端にある［×］（閉じる）ボタンをクリックする

または、

1. 終了アイコンをクリックして終了する

List Editorの使いかた

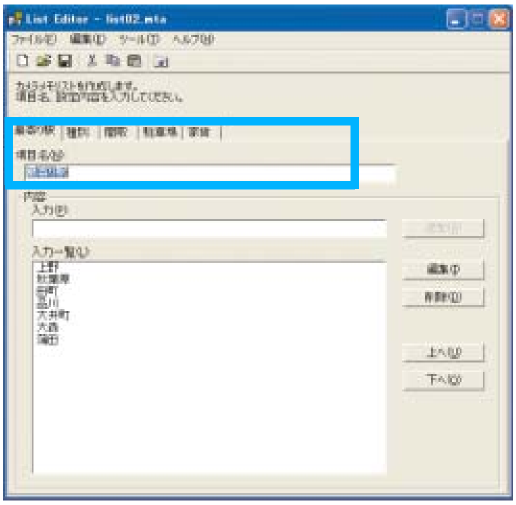
カメラメモリストファイルには、分類項目を最大5項目まで登録できます。各分類項目には、文字のメモを最大50項目まで登録でき、音声メモを1項目登録できます。なお、音声メモはカメラで登録します。

1. List Editorを起動する

List Editorが起動します。

2. ［項目1］タブで［項目名］に分類項目名を入力する

入力できる文字数は半角で20文字までです。



他の［項目］タブをクリックして表示を切り替えることができます。

3. ［内容］の［入力］にカメラメモを入力する

入力できる文字数は半角で32文字までです。

4. ［追加］ボタンをクリックする

5. 手順3、4を繰り返して、カメラメモをすべて入力する

カメラメモを削除したいときには、削除したいカメラメモを選択して［削除］ボタンをクリックします。

カメラメモの位置を移動したいときには、移動するカメラメモを選択して［上へ］ボタンまたは［下へ］ボタンをクリックします。

6. 他にも分類項目やカメラメモを登録したい場合には、登録したい［項目名］タブをクリックして、手順2～5を繰り返して分類項目名の登録やカメラメモの登録を行う

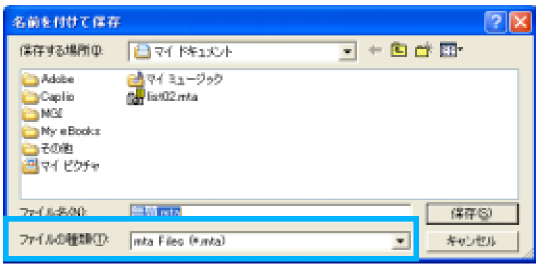
7. ツールバーの［上書き保存］ボタンをクリックするか、または［ファイル］メニューで［名前を付けて保存］を選択する

まず、カメラに転送する前にパソコンに保存しておきます。パソコンへ保存しないで、カメラに転送することもできます。

［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。

8. 保存場所を選択して、ファイル名を入力する

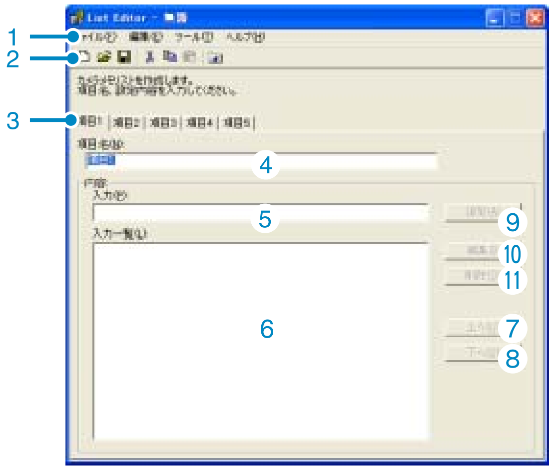
9. ［ファイルの種類］で「mta Files (*.mta)」が選択されていることを確認する



csvファイルとして保存することもできますが、カメラでカメラメモリストとして使うにはmtaファイルを選択して保存してください。

10. ［保存］ボタンをクリックする

List Editorの画面の見かた



1. メニューバー

   カメラメモの保存や編集、カメラへの転送などができます。

2. ツールバー

   メニューで行える機能の中から主なものがアイコンで表示され、クリックだけで簡単に機能を使うことができます。

   新規作成

   新しいカメラメモを作成するための画面を開きます。

   開く

   パソコンに保存されているカメラメモリストを開きます。

   上書き保存

   カメラメモリストをパソコンに保存します。
   ファイル形式は、mtaとcsvから選択できます。カメラでカメラメモリストとして使うにはmtaファイルを選択して保存してください。

   切り取り・コピー・貼り付け

   選択されている文字を切り取り / コピー / 貼り付けします。

   カメラへ転送

   カメラメモリストをカメラのSDメモリーカード内のTEMPLATEフォルダに転送します。

メモ

- 同じファイル名のカメラメモリストファイルがSDメモリーカード内にあった場合には、上書きします。
- カメラで読み込んで使用できるカメラメモリストは1つだけです。
- カメラメモリストは1枚のSDメモリーカードにつき1つだけ登録されます。
- SDメモリーカード上にあるカメラメモリストと異なるファイル名のカメラメモリストを転送する場合は、SDメモリーカード上にあるカメラメモリストをあらかじめパソコンに保存しておいてください。
- カメラのSETUPから[フォーマット]を行っても、カメラメモリストは削除されません。

3. ［項目名］タブ

   分類項目名ごとに画面を切り替えることができます。

4. ［項目名］入力フィールド

   項目名を入力するときに使います。

5. ［内容］入力フィールド

   各カメラメモを入力するときに使います。

6. ［内容］入力一覧

   登録されたカメラメモを一覧表示します。

7. ［上へ］

   [内容]の一覧で選択されているカメラメモを1行上に移動します。

8. ［下へ］

   [内容]の一覧で選択されているカメラメモを1行下に移動します。

9. ［追加］

   [内容]の一覧の最後に新規のカメラメモを追加します。

10. [編集]

   [内容]の一覧で選択されているカメラメモが編集可能状態になります（［内容］入力フィールドで修正できます）。

11.[削除]

[内容]の一覧で選択されているカメラメモを削除します。

メモ

カメラメモリストを編集するには

パソコンに保存したカメラメモリストを修正したいときには、[開く] アイコンを使ってカメラメモリ開いて修正し、[保存] アイコンで上書き保存します。

カメラメモリストをカメラに転送する

注意

カメラの [USB 接続] の設定が [マスストレージ] になっている場合は、カメラメモリストを転送できません。

PC カードスロットやカードリーダーを使って、カメラメモリストを保存してください(P.35)。

List Editorから転送する

1. RICOH Gate LaまたはAuto Document リンクを終了する

タスクバーに RICOH Gate La または Auto Document リンクが常駐している場合は、終了してください。(→P.19)

2. カメラの電源がオフになっていることを確認する

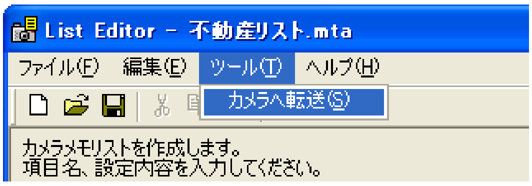
3. カメラメモリストを保存する SD メモリーカードをカメラにセットする

4. 付属のUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

5. USB ケーブルを USB 端子に接続する

カメラの電源がオンになります。液晶モニターの表示は消えたままですが、フラッシュランプとオートフォーカスランプが点滅するので、電源がオンになっていることが確認できます。

6. ツールバーの [カメラへ転送] ボタンをクリックするか、または [ツール] メニューで [カメラへ転送] を選択する



USB ケーブルを経由してカメラにセットされた SD メモリーカードにカメラメモリストが保存され、「転送に成功しました」というメッセージが表示されます。

7. [OK] ボタンをクリックする

8. [ファイル] メニューで [終了] を選択する

List Editorが終了します。

ウィンドウの右上端にある [×] (閉じる) ボタンをクリックしても、List Editorを終了することができます。

9. カメラの電源ボタンを押して電源をオフにする

10. USBケーブルをカメラとパソコンから外す

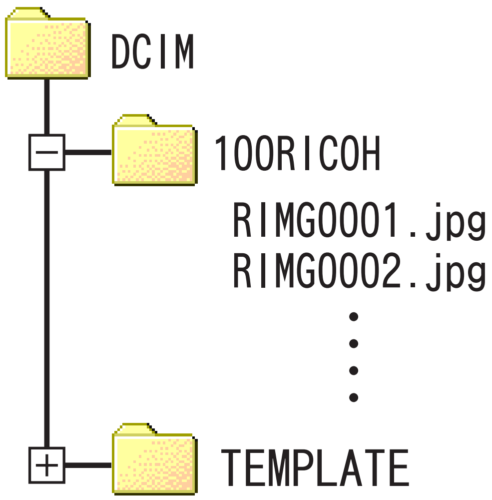
これでカメラの電源を再びオンにすると、SDメモリーカード内のカメラメモリストを使うことができます。

11. 必要に応じて、RICOH Gate La または Auto Document リンクを再起動する (→P.19)

PC カードアダプターを使うときには

別売りの PC カードアダプター（FM-SD53）を使うと、パソコンから直接SDメモリーカードにカメラメモリストを転送して保存することができます。

カメラメモリストは、SD メモリーカード内の TEMPLATE フォルダに保存してください。TEMPLATE フォルダは、SD メモリーカードをカメラでフォーマットすると、自動的に作成されます。



1. PCカードアダプターをパソコンに接続し、使用できる状態にしておく
2. SD メモリーカードを PC カードアダプターにセットする
3. 「List Editor の使いかた」の手順～までの操作を行う
4. 保存場所にPCカードアダプターにセットしたSDメモリーカード内のTEMPLATE フォルダを選択して、ファイル名を入力する
5. ［ファイルの種類］で「mta Files (*.mta)」が選択されていることを確認する
6. ［保存］ボタンをクリックする

   カメラメモリストが SD メモリーカード内に保存されます。SDメモリーカードをカメラにセットすると、カメラメモリストが使用できます。

Section 3
カメラメモを付けて撮影する

SD メモリーカード内に作成されたカメラメモリストを使って、静止画にメモを付けて撮影することができます。

ここでは、カメラメモ付き撮影に関する操作について説明します。

参照

カメラメモを作成するには→P.31

カメラメモを付けて撮影する

静止画にカメラメモを付けて撮影することができます。

カメラメモは付属ソフト List Editor を使ってあらかじめパソコンで作成し、SDメモリーカードに保存しておきます。

シーンモードでの撮影時にも、カメラメモ付き撮影ができます。

カメラメモ付き撮影をするには、次のように操作します。

1. カメラの電源がオフになっていることを確認する

2. カメラメモリストの入っているSDメモリーカードをカメラにセットする

3. カメラの電源をオンにする

4. モードダイヤルを📷（撮影モード）に合わせる

5. OKボタンを押す

カメラメモ画面には、カメラメモリストの各分類項目内の先頭のカメラメモが表示されます。



6. ▲▼ボタンを押して、カメラメモの内容を変更したい分類項目を選ぶ

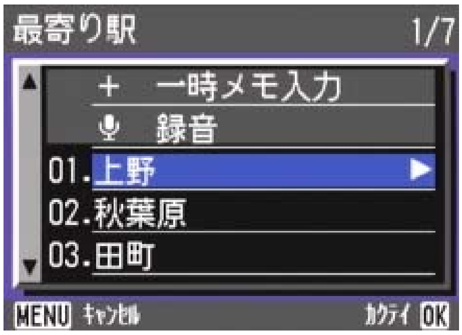
7. ▶ボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示する

8. ▲▼ボタンを押して、使いたいカメラメモを選び、OKボタンを押す

一時メモが作成されている場合には、カメラメモの内容が 1 行めまで表示されています。

音声メモが作成されている場合には、スピーカーのマークが表示されています。

「一時メモ入力」を選択すると、一時メモの入力ができます（P.39）。「録音」を選択すると音声メモの録音ができます（P.54）。



9. 手順6〜8を繰り返して、使いたいカメラメモを設定する

10. OK ボタンを押してカメラメモを確定する

画面にMEMOマークが表示されます。

このマークが表示されているときには、カメラメモ付きで撮影されます。



11. シャッターボタンを押して撮影する

カメラメモ付き撮影をやめるには

メモマークが付いている間は、カメラメモ付きで撮影されます。

マークを消してカメラメモ付き撮影をやめるには、次のように操作します。

1. モードダイヤルを（撮影モード）に合わせる



2. OKボタンを押す

カメラメモ画面が表示されます。



3. MENUボタンを押す

MEMOマークが消え、カメラメモ付き撮影が解除されます。

再度、カメラメモ付きで撮影したいときには、OK ボタンを押すと、カメラメモ画面を表示することができます。

メモ

- カメラメモ画面でも、シャッターを押して撮影することができます。
- 以下の場合にはカメラメモ付き撮影はできません。
  - オートブラケット
  - ホワイトバランスブラケット
  - 動画撮影
  - 音声録音
- 撮影した静止画にあとからカメラメモを付けることもできます。

参照

- 静止画に付けられたカメラメモを表示するには→P.43
- 撮影した静止画にカメラメモを付けるには→P.44
- 音声メモを登録／再生確認／変更するには→P.54
- カメラメモを作成するには→P.31
- カメラメモを一時的に作成 / 修正するには→P.39

カメラメモを一時的に作成 / 修正して使う（一時メモ）

カメラメモは、パソコンで作成や編集（修正）を行いますが、カメラで一時的に作成、修正して撮影時に静止画に付けることができます。一時的に作成したカメラメモを「一時メモ」と呼びます。

注意

- 一時メモは SD メモリーカード内のカメラメモリストには保存されず、カメラの電源をオフすると消去されます。
- 一時メモに使える文字は、英数字だけです。
- 一時メモを使用する場合も、事前にパソコンでカメラメモリストを作成し、カメラに転送しておく必要があります。

参照

カメラメモを作成するには→P.31

一時メモを作成する

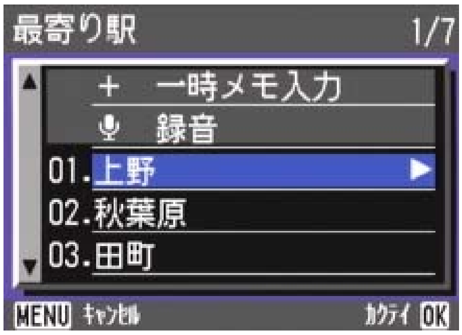
一時メモを作成するには、次のように操作します。

1. モードダイヤルを📷（撮影モード）または▶（再生モード）に合わせる
2. OKボタンを押す

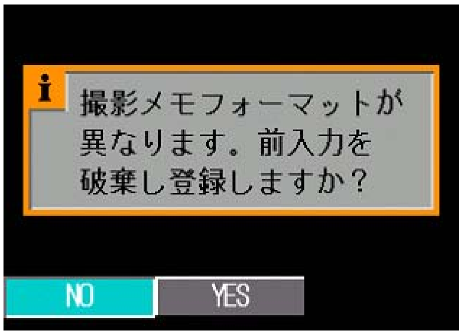
カメラメモ画面が表示されます。



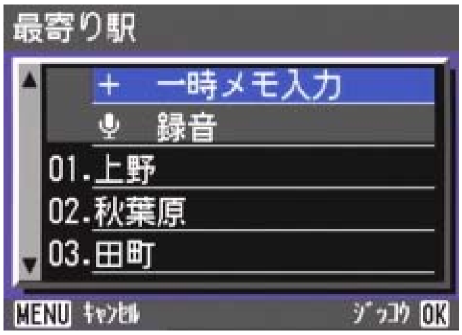
3. ▲▼ボタンを押して、登録したいカメラメモの分類項目を選ぶ
4. ▶ボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示する



場合によっては、カメラメモ一覧画面が表示される前に、カメラメモの再登録確認画面が表示されます。その場合には、▶ボタンで［YES］を選択してOKボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示してください。



5. ▲▼ボタンを押して、「一時メモ入力」を選ぶ



6. OKボタンを押す

編集確認画面が表示されます。

7. ▶ボタンで［YES］を選択してOKボタンを押す

キーボード画面が表示されます。



8. キーボードを使ってメモ（英数字）を入力する

カーソル移動	▲▼◀▶ ボタン
文字入力	DISP ボタン
キャンセル	MENU ボタン
確定	OK ボタン

キーボードの使いかたは､「キーボードの使いかた」（P.51）を参照してください。

9. カメラメモの入力が完了したらOKボタンを押して、カメラメモ一覧画面に戻る

一時メモは、先頭の 1 行まで表示されます。

10. OKボタンを押して、カメラメモ画面に戻る

11. ほかにも登録したいカメラメモがある場合には、手順3～10を繰り返して、登録する

一時メモを修正する

一時メモを修正するには、次のように操作します。

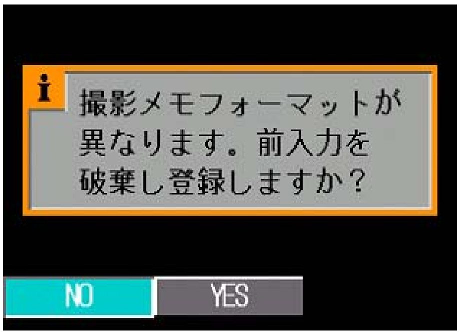
1. モードダイヤルを（撮影モード）または（再生モード）に合わせる
2. OKボタンを押す

カメラメモ画面が表示されます。



3. ▲▼ボタンを押して、修正したい一時メモの分類項目を選ぶ
4. ▶ボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示する

場合によっては、カメラメモ一覧画面が表示される前に、カメラメモの再登録確認画面が表示されます。その場合には、▶ボタンで［YES］を選択してOKボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示してください。



5. ▲▼ボタンを押して、「一時メモ入力（+の付いた項目）」を選ぶ



6. ▶ボタンを押す

編集確認画面が表示さます。

7. ▶ボタンで［YES］を選択してOKボタンを押す

キーボード画面が表示されます。

8. キーボードを使ってメモ（英数字）を修正する

カーソル移動	▲▼◀▶ ボタン
文字入力	DISP ボタン
キャンセル	MENU ボタン
確定	OK ボタン

キーボードの使いかたは、「キーボードの使いかた」（P.51）を参照してください。

9. カメラメモの修正が完了したらOKボタンを押して、カメラメモ一覧画面に戻る
10. OKボタンを押して、カメラメモ画面に戻る

ほかにも修正したいカメラメモがある場合には、手順3～10を繰り返して、登録する

カメラメモを修正して一時メモを作成する

カメラメモリストファイルに登録されているカメラメモを修正して、一時メモを作成することができます。

カメラメモリストファイルのカメラメモを修正して一時メモを作成するには、次のように操作します。

1. モードダイヤルを📷（撮影モード）または▶（再生モード）に合わせる

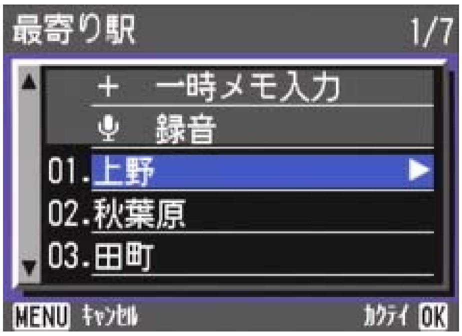
2. OKボタンを押す

カメラメモ画面が表示されます。

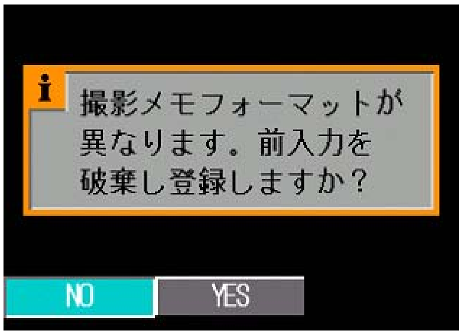


3. ▲▼ボタンを押して、登録したいカメラメモの分類項目を選ぶ

4. ▶ボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示する



場合によっては、カメラメモ一覧画面が表示される前に、カメラメモの再登録確認画面が表示されます。その場合には、▶ボタンで [YES] を選択してOKボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示してください。



5. ▲▼ボタンを押して、修正したいカメラメモを選ぶ

6. ▶ボタンを押す

編集確認画面が表示さます。

7. ▶ボタンで［YES］を選択してOKボタンを押す

キーボード画面が表示されます。

8. キーボードを使ってメモ（英数字）を修正する

カーソル移動	▲▼◀▶ ボタン
文字入力	DISP ボタン
キャンセル	MENU ボタン
確定	OK ボタン

キーボードの使いかたは、「キーボードの使いかた」（P.51）を参照してください。

9. カメラメモの修正が完了したらOKボタンを押して、カメラメモ一覧画面に戻る

一時メモは、先頭の１行まで表示されます。

10. OKボタンを押して、カメラメモ画面に戻る

11. ほかにも修正したいカメラメモがある場合には、手順3～10を繰り返して、登録する

静止画に付けたカメラメモを再生／削除する

カメラメモ付き撮影した静止画のメモを再生／削除することができます。

再生した静止画がカメラメモ付きの場合には、画面の右下端に MEMO マークが表示されます。

また、静止画に音声メモが付けられている場合には、音声メモを再生する（聞く）ことができます。

カメラメモを再生／削除するには、次のように操作します。

カメラメモを再生する

1. モードダイヤルを▶（再生モード）に合わせる

最後に撮ったファイルが表示されます。

動画の場合には、最初の 1 フレームが静止画像で表示されます。

2. ◀▶ ボタンで見たいカメラメモ付き静止画にする

▶ボタンを押すと、次のファイルを表示できます。

◀ボタンを押すと、1つ前のファイルを表示できます。

◀▶ ボタンを押し続けると、高速で移動できます。

3. OKボタンを押す

静止画に付けられたカメラメモが表示されます。



OK ボタンを押すとカメラメモの表示が消え、元の静止画に戻ります。

音声メモを再生するには、▲▼ ボタンを押してスピーカーのマークを選び、ADJ. ボタンを押すと、音声を再生できます。

カメラメモを削除する

1. カメラメモを削除したい静止画を表示する

2. OKボタンを押す

静止画に付けられたカメラメモが表示されます。



3. MENUボタンを押す

カメラメモが削除されます。

参照

・カメラメモ付き撮影をするには→P.37
・撮影した静止画にカメラメモを付けるには→P.44
・カメラメモを作成するには→P.31
・音声メモを登録／再生確認／変更するには→P.54
・カメラメモを一時的に作成 / 修正するには→P.39

撮影した静止画にカメラメモを付けるには

撮影した静止画に後からカメラメモを付けることができます。

静止画にカメラメモを付けるには、次のように操作します。

1. モードダイヤルを▶（再生モード）に合わせる

最後に撮ったファイルが表示されます。

動画の場合には、最初の1フレームが静止画像で表示されます。

2. ◀▶ ボタンでカメラメモを変更したい静止画にする

▶ボタンを押すと、次の静止画、動画、音声を再生できます。

◀ボタンを押すと、1つ前の静止画、動画、音声を再生できます。

◀▶ボタンを押し続けると、高速で移動できます。

3. OKボタンを押す

カメラメモ画面が表示されます。



4. ▲▼ボタンを押して、付けたカメラメモの分類項目を選ぶ

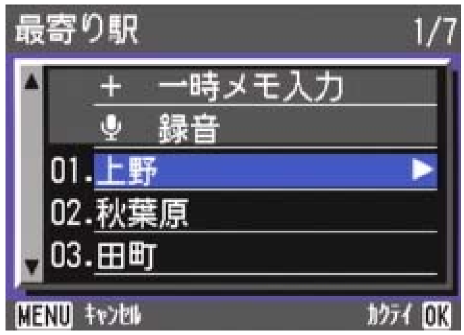
5. ▶ボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示する

6. ▲▼ボタンを押して、付けたいカメラメモを選び、OKボタンを押す

一時メモが作成されている場合には、カメラメモの内容が1行めまで表示されています。

音声メモが作成されている場合には、スピーカーのマークが表示されています。

一時メモを選ぶ場合には、「一時メモ」を選びます。音声メモを選ぶ場合には、スピーカーのマークを選びます。



7. 手順4～6を繰り返して、付けたいカメラメモを設定する

カメラメモを選択しない場合には、カメラメモ一覧画面で「未設定」を選びます。

8. OK ボタンを押してカメラメモを確定する

参照

・カメラメモ付き撮影をするには→P.37
・カメラメモを作成するには→P.31
・音声メモを登録／再生確認／変更するには→P.54
・カメラメモを一時的に作成 / 修正するには→P.39

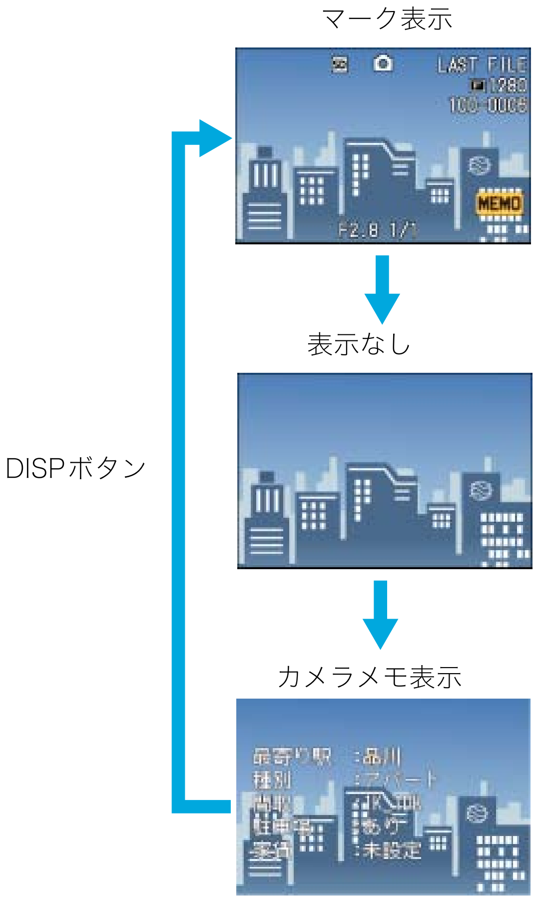
カメラ本体で静止画に付けたカメラメモを表示確認 / 変更する

カメラメモを表示確認する

再生時にDISPボタンを押すと、カメラメモが付いている静止画の場合、マーク表示→表示なし→カメラメモ表示→･･･と切り替えることができます。

カメラメモが付いていない画像の場合、マーク表示→表示なし→マーク表示→･･･の順に切り替わります。

●カメラメモが付いている場合



●カメラメモが付いていない場合



カメラメモを変更する

カメラメモを変更するには、次のように操作します。

1. **モードダイヤルを ▶ (再生モード) に合わせる**

最後に撮ったファイルが表示されます。
動画の場合には、最初の 1 フレームが静止画像で表示されます。

2. **◀▶ ボタンでカメラメモを変更したい静止画にする**

▶ボタンを押すと、次の静止画、動画、音声を再生できます。
◀ ボタンを押すと、1 つ前の静止画、動画、音声を再生できます。
◀▶ ボタンを押し続けると、高速で移動できます。

3. **OKボタンを押す**

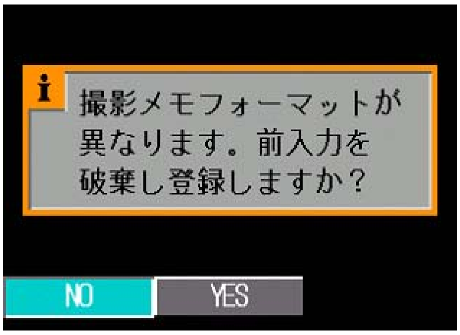
静止画に付けられたカメラメモが表示されます。

4. ▲▼ボタンを押して、カメラメモの内容を変更したい分類項目を選ぶ



5. ▶ボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示する

変更前のカメラメモが現在セットされている SD メモリーカード内のメモリストファイルと異なる場合には、メッセージ画面が表示されます。その場合には、▶ボタンで [YES] を選択して OK ボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示してください。

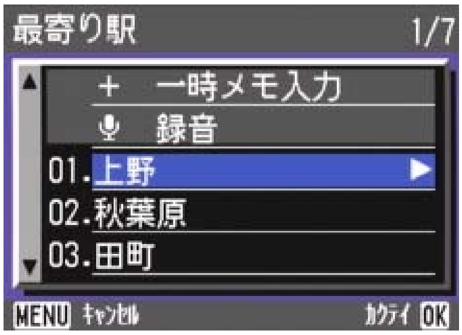


6. ▲▼　ボタンを押して項目を選び、OKボタンを押す

一時メモが作成されている場合には、カメラメモの内容が 1 行めまで表示されています。

音声メモが作成されている場合には、スピーカーのマークが表示されています。

一時メモを選ぶ場合には、「一時メモ」を選びます。音声メモを選ぶ場合には、スピーカーのマークを選びます。



7. 手順4～6を繰り返して、変更が必要なカメラメモについてすべて変更を行う

カメラメモを選択しない場合には、カメラメモ一覧画面で「未設定」を選びます。

8. OK　ボタンを押してメモを確定する

参照

・カメラメモ付き撮影をするには→P.37
・撮影した静止画にカメラメモを付けるには→P.44
・静止画に付けたカメラメモを見るには→P.43
・カメラメモを作成するには→P.31
・音声メモを登録／再生確認／変更するには→P.54
・カメラメモを一時的に作成 / 修正するには→P.39

音声メモを登録（録音）／再生確認／変更する

音声メモは、カメラメモリストに登録されている分類項目（最大５項目）ごとに１つ登録できます。録音できる音声メモの長さは、最大８秒までです。

音声メモは、シーンモードのときでも登録することができます。

登録した音声メモをは再生確認／変更することができます。

ADJ.ボタンを使うと、通常のボタン操作より少ない手順で音声メモの登録（録音）や再生、変更ができます。

音声メモを登録する

音声メモを登録するには、次のように操作します。

1. モードダイヤルを📷（撮影モード）または▶（再生モード）に合わせる
2. 再生モードの場合には、カメラメモを付けたい静止画を表示する
3. OKボタンを押す

カメラメモ画面が表示されます。



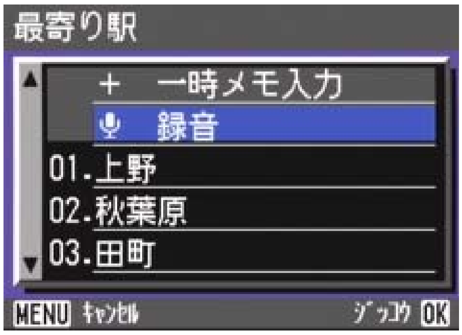
この画面でも、撮影、ズーム、クイックレビューが行えます（撮影モード時）。

4. ▲▼ボタンを押して、登録したい音声メモの分類項目を選ぶ
5. ▶ボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示する

ここで▶ボタンの代わりにADJ.ボタンを押すと、操作の手順を簡略化することができます。

ADJ. ボタンを押すと、手順 6、7 を飛ばして、手順８へ進み、音声の録音が終わるとカメラメモ画面に戻ります。

6. ▲▼ボタンを押して、「録音」を選ぶ



7. OK ボタンを押し、録音画面を表示する



8. シャッターボタンを押す

音声の録音が開始されます。８秒まで録音できます。

音声の録音を途中で停止したいときには、シャッターボタンを半押しします。

音声の録音が停止すると、カメラメモ一覧画面に戻ります。

9. ▶ボタンを押す

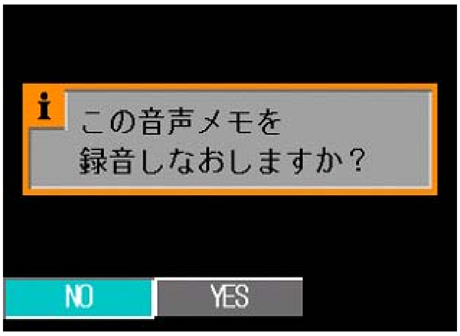
音声の再生画面が表示されます。



10. シャッターボタンを押す

録音した音声が再生され、内容を確認できます。途中で停止したいときはシャッターボタンを押します。

再生を停止または終了すると、再登録確認画面が表示されます。



11. [NO] を選択してOKボタンを押す

カメラメモ一覧画面に戻ります。

録音し直す場合には、[YES] を選択してOKボタンを押し、手順8からやり直します。

12. ほかにも変更したい音声メモがある場合には、手順4～11を繰り返して、変更する

13. OKボタンを押す

カメラメモ画面に戻ります。

メモ

- 音源からマイクまでの距離は20cm以内にします。
- マイク穴に指がかかり、穴をふさがないよう注意してください。

参照

- カメラメモ付き撮影をするには→P.37
- 静止画に付けられたカメラメモを表示するには→P.43
- カメラメモを作成するには→P.31

登録した音声メモを再生する

1. モードダイヤルを▶（再生モード）または📷（撮影モード）に合わせる
2. 再生モードの場合には、音声メモを変更したい静止画を表示する
3. OKボタンを押す
4. ▲▼ボタンを押して、再生したい音声メモの分類項目を選ぶ
5. ▶ボタンを押して、カメラメモ一覧画面を表示する

   ここで▶ボタンの代わりにADJ.ボタンを押すと、操作の手順を簡略化することができます。

   ADJ. ボタンを押すと、手順 6、7 を飛ばして、手順８へ進み、音声メモが再生されると、カメラメモ画面に戻ります。
6. ▲▼ボタンを押して「再生」を選ぶ
7. ▶ボタンを押して再生画面にする
8. シャッターボタンを押す

   音声メモが再生され、終了すると、再登録確認画面が表示されます。
9. [NO] を選択してOKボタンを押す

   カメラメモ一覧画面に戻ります。
10. OKボタンを押す

    カメラメモ画面に戻ります。
11. ほかにも再生したい音声メモがある場合には、手順４～10を繰り返して再生する

登録した音声メモを変更する

1. モードダイヤルを▶（再生モード）または📷（撮影モード）に合わせる
2. 再生モードの場合には、音声メモを再生したい静止画を表示する
3. OKボタンを押す
4. ▲▼ボタンを押して、変更したい音声メモの分類項目を選ぶ
5. ▶ボタンを押して、カメラメモ一覧画面を表示する

   ここで▶ボタンの代わりにADJ.ボタンを押すと、操作の手順を簡略化することができます。

   ADJ. ボタンを押すと、手順 6、7 を飛ばして、手順８へ進みます。音声メモを再録音すると、カメラメモ画面に戻ります。
6. ▲▼ボタンを押して「再生」を選ぶ
7. ▶ボタンを押して再生画面にする
8. シャッターボタンを押す

   音声メモが再生され、終了すると、再登録確認画面が表示されます。
9. [YES] を選択してOKボタンを押す
10. シャッターボタンを押して、再録音を行う

    録音が終わると、カメラメモ一覧画面に戻ります。
11. OKボタンを押す

    カメラメモ画面に戻ります。
12. ほかにも変更したい音声メモがある場合には、手順４～11 を繰り返して変更する

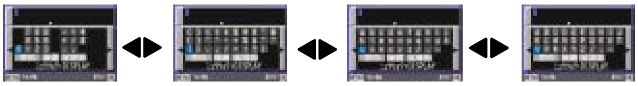
付録

キーボードの使い方

キーボード画面は、次のように操作します。

■文字の種類を切り替える

キーボードの左右の端の文字にカーソルがあるときに、◀▶ボタンを押すと、文字の種類を数字、記号、英小文字、英大文字に切り替えることができます。



数字



記号



英小文字



英大文字



■文字を入力する

1. ▲▼◀▶　ボタンでカーソルを移動し、入力したい文字を選ぶ
2. DISPボタンを押す

   入力編集エリアの下部に表示された▲マークの位置まで入力できます。



■空白（スペース）を入力する

1. ▲▼◀▶　ボタンでカーソルを移動し、キーボードの最下段へ移動し、▼ボタンを押す
2. ◀▶ボタンで［空白］を選ぶ
3. DISPボタンを押す



■文字を修正する

1. ▲▼◀▶　ボタンでキーボードの最上段のいずれかの文字を選ぶ
2. ▲ボタンを押す

   入力済みの文字にカーソルが移動します。



3. ◀▶　ボタンで修正したい文字を選ぶ
4. ▼ ボタンを押してカーソルをキーボードに戻す
5. ▲▼◀▶　ボタンで入力したい文字を選ぶ
6. DISPボタンを押す



■文字を１文字消去する

1. ▲▼◀▶　ボタンでキーボードの最上段のいずれかの文字を選ぶ

2. ▲ボタンを押す

入力済みの文字にカーソルが移動します。



3. ◀▶　ボタンで消したい文字の直後（右側）の文字を選ぶ

4. ▼ ボタンを押してカーソルをキーボードに戻す

5. ▲▼◀▶　ボタンでカーソルをキーボードの最下段へ移動し、▼ ボタンを押す

6. ◀▶ボタンで［後退］を選び、DISPボタンを押す



■入力した文字をすべて消去する

1. ▲▼◀▶　ボタンでカーソルをキーボードの最下段へ移動し、▼ ボタンを押す

2. ◀▶ボタンで［全消去］を選ぶ

3. DISPボタンを押す



お困りのときは

症状 1　画像の取り込みができないときには・・・

対処方法1

Caplio レスキューを起動して、メッセージに従って操作してください。

対処方法2

カメラが正しくパソコンに認識されていない可能性が考えられます。

次のように操作してみてください。

●Windows 98/98SE/Meの場合には・・・

Step1：まず、次の操作をしてみてください。

① Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットします。

② パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。

③ Windowsのタスクバーにある[スタート]をクリックして[スタート]メニューを表示します。

④ [設定]を選択し、[コントロールパネル]を選択します。

⑤ コントロールパネルが表示されるので、[システム]アイコンをダブルクリックします。

⑥ [システムのプロパティ]画面が表示されるので、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

⑦ [デバイスマネージャ]タブが表示されるので、[その他のデバイス]の左に表示された[+]をクリックします。

⑧ 下位に表示された項目に[Caplio GX8]がないか確認します。もしあれば、[Caplio GX8]をクリックして、[デバイスマネージャ]タブの下の方に表示されている[削除]ボタンをクリックします。

[Caplio GX8]が削除されます。

⑨ [OK]ボタンをクリックして[システムのプロパティ]画面を閉じます。

⑩ コントロールパネルに戻るので、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

⑪ [アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面が表示されるので、[Caplio Software]を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。

Caplio Softwareがアンインストールされます。

⑫ [OK]ボタンをクリックして[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面を閉じます。

⑬ [×]（閉じる）ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。

⑭ パソコンとカメラの電源を切ります。

⑮ 再度パソコンの電源を入れ、CD-ROMから、ソフトウェアの再インストールを行います。

※この時、カメラは接続しないでください。

⑯ カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

パソコンがカメラを認識すると、[新しいハードウェア]の画面が起動し、カメラがパソコンに登録されます。

Step2：まだカメラが正しくパソコンに認識されない場合には、次の操作をしてみてください。

① Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットします。

② パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。

③ Windowsのタスクバーにある[スタート]をクリックして[スタート]メニューを表示します。

④ [設定]を選択し、[コントロールパネル]を選択します。

⑤ コントロールパネルが表示されるので、[システム]アイコンをダブルクリックします。

⑥ [システムのプロパティ]画面が表示されるので、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

⑦ [デバイスマネージャ]タブが表示されるので、[ポート(COM/LPT)]の左に表示された[+]をクリックします。

⑧ [ポート(COM/LPT)]の下位に表示された[Ricoh Camera Port]に不明なデバイスのマーク（！）がついていないかどうか確認します。もしあれば、それを選択し、[デバイスマネージャ]タブの下の方に表示されている[削除]ボタンをクリックして削除します。

⑨ [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の左に表示された[+]をクリックします。

⑩ [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の下位に表示された[RICOH USB Virtual COM]に不明なデバイスのマーク（！）がついていないかどうか確認します。もしあれば、それを選択し、[デバイスマネージャ]タブの下の方に表示されている[削除]ボタンをクリックして削除します。

⑪ [OK]ボタンをクリックして[システムのプロパティ]画面を閉じます。

⑫ コントロールパネルに戻るので、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

⑬ [アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面が表示されるので、[Caplio Software]を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。

Caplio Softwareがアンインストールされます。

⑭ [OK]ボタンをクリックして[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面を閉じます。

⑮ [×]（閉じる）ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。

⑯ パソコンとカメラの電源を切ります。

⑰ 再度パソコンの電源を入れ、CD-ROMから、ソフトウェアの再インストールを行います。

※この時、カメラは接続しないでください。

⑱ カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

パソコンがカメラを認識すると、[新しいハードウェア]の画面が起動し、カメラがパソコンに登録されます。

●Windows 2000の場合には・・・

Step1：まず、次の操作をしてみてください。

① Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットします。

② パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。

③ Windowsのタスクバーにある[スタート]をクリックして[スタート]メニューを表示します。

④ [設定]を選択し、[コントロールパネル]を選択します。

⑤ コントロールパネルが表示されるので、[システム]アイコンをダブルクリックします。

⑥ [システムのプロパティ]画面が表示されるので、[ハードウェア]タブをクリックします。

⑦ [ハードウェア]タブが表示されるので、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

⑧ [デバイスマネージャ]画面が表示されるので、[その他のデバイス]の左に表示された[+]をクリックします。

⑨ 下位に表示された項目に[Caplio GX8]がないか確認します。もしあれば、[Caplio GX8]をクリックして、[操作]メニューの[削除]を選択します。

[Caplio GX8]が削除されます。

⑩ [×](閉じる)ボタンをクリックして[デバイスマネージャ]画面を閉じます。

⑪ [OK]ボタンをクリックして[システムのプロパティ]画面を閉じます。

⑫ コントロールパネルに戻るので、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

⑬ [アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面が表示されるので、[Caplio Software]を選択し、[変更と削除]ボタンをクリックします。

Caplio Softwareのソフトがアンインストールされます。

⑭ [×](閉じる)ボタンをクリックして[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面を閉じます。

⑮ [×](閉じる)ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。

⑯ パソコンとカメラの電源を切ります。

⑰ 再度パソコンの電源を入れ、CD-ROMから、ソフトウェアの再インストールを行います。

※この時、カメラは接続しないでください。

⑱ カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

パソコンがカメラを認識すると、[新しいハードウェア]の画面が起動し、カメラがパソコンに登録されます。

Step2　まだカメラが正しくパソコンに認識されない場合には、次の操作をしてみてください。

① Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットします。

② パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。

③ Windowsのタスクバーにある[スタート]をクリックして[スタート]メニューを表示します。

④ [設定]を選択し、[コントロールパネル]を選択します。

⑤ コントロールパネルが表示されるので、[システム]アイコンをダブルクリックします。

⑥ [システムのプロパティ]画面が表示されるので、[ハードウェア]タブをクリックします。

⑦ [ハードウェア]タブが表示されるので、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

⑧ [デバイスマネージャ]画面が表示されるので、[ポート(COM/LPT)]の左に表示された[+]をクリックします。

⑨ [ポート(COM/LPT)]の下位に表示された[Ricoh Camera Port]に不明なデバイスのマーク（！）がついていないかどうか確認します。もしあれば、それをクリックし、[操作]メニューの［削除］を選択します。

⑩ [×]（閉じる）ボタンをクリックして[システムのプロパティ]画面を閉じます。

⑪ コントロールパネルに戻るので、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

⑫ [アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面が表示されるので、[Caplio Software]を選択し、[変更と削除]ボタンをクリックします。

Caplio Softwareがアンインストールされます。

⑬ [×]（閉じる）ボタンをクリックして[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面を閉じます。

⑭ [×]（閉じる）ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。

⑮ パソコンとカメラの電源を切ります。

⑯ 再度パソコンの電源を入れ、CD-ROMから、ソフトウェアの再インストールを行います。

※この時、カメラは接続しないでください。

⑰ カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

パソコンがカメラを認識すると、[新しいハードウェア]の画面が起動し、カメラがパソコンに登録されます。

●Windows XPの場合には・・・

Step1：まず、次の操作をしてみてください。

① Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットします。

② パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。

③ Windowsのタスクバーにある[スタート]をクリックして[スタート]メニューを表示します。

④ [コントロールパネル]を選択します。

⑤ コントロールパネルが表示されるので、[クラシック表示に切り替える]をクリックします。

表示が変わり[システム]アイコンが表示されます。

⑥ [システム]アイコンをダブルクリックします。

⑦ [システムのプロパティ]画面が表示されるので、[ハードウェア]タブをクリックします。

⑧ [ハードウェア]タブが表示されるので、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

⑨ [デバイスマネージャ]画面が表示されるので、[その他のデバイス]の左に表示された[+]をクリックします。

⑩ 下位に表示された項目に[Caplio GX8] がないか確認します。もしあれば、[Caplio GX8]を右クリックしてメニューを表示し、[ドライバの更新]を選択します。

⑪ [ハードウェアの更新ウィザード]が起動します。ここで事前にパソコンのCD-ROMドライブにCaplio SoftwareのCD-ROMをセットしておきます。

⑫ [ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)]が選択されていることを確認して[次へ]ボタンをクリックします。

⑬ [ハードウェアの更新ウィザードの完了]画面が表示されたら[完了]ボタンをクリックします。

⑭ [×](閉じる)ボタンをクリックして[デバイスマネージャ]画面を閉じます。

⑮ [OK]ボタンをクリックして[システムのプロパティ]画面を閉じます。

⑯ [×](閉じる)ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。

⑰ パソコンとカメラの電源を切ります。

⑱ 再度パソコンの電源を入れ、CD-ROMから、ソフトウェアの再インストールを行います。

※この時、カメラは接続しないでください。

⑲ カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

パソコンがカメラを認識すると、[新しいハードウェア]の画面が起動し、カメラがパソコンに登録されます。

Step2：まだカメラが正しくパソコンに認識されない場合には、次の操作をしてみてください。

① Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットします。
② パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。
③ Windowsのタスクバーにある[スタート]をクリックして[スタート]メニューを表示します。
④ [コントロールパネル]を選択します。
⑤ コントロールパネルが表示されるので、[クラシック表示に切り替える]をクリックします。
表示が変わり[システム]アイコンが表示されます。
⑥ [システム]アイコンをダブルクリックします。
⑦ [システムのプロパティ]画面が表示されるので、[ハードウェア]タブをクリックします。
⑧ [ハードウェア]タブが表示されるので、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。
⑨ [デバイスマネージャ]画面が表示されるので、[イメージングデバイス]の左に表示された[+]をクリックします。
⑩ [イメージングデバイス]の下位に表示された[Caplio GX8]に不明なデバイスのマーク（！）がついていないかどうか確認します。もしあれば、表示されたその不明なデバイスマークを右クリックしてメニューを表示し、[ドライバの更新]を選択します。
⑪ [ハードウェアの更新ウィザード]が起動します。ここで事前にパソコンのCD-ROMドライブにCaplio SoftwareのCD-ROMをセットしておきます。
⑫ [ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)]が選択されていることを確認して[次へ]ボタンをクリックします。
⑬ [ハードウェアの更新ウィザードの完了]画面が表示されたら[完了]ボタンをクリックします。
⑭ [×](閉じる)ボタンをクリックして[デバイスマネージャ]画面を閉じます。
⑮ [OK]ボタンをクリックして[システムのプロパティ]画面を閉じます。
⑯ [×](閉じる)ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。

ドライバーが正しくインストールされ、カメラがパソコンに正しく認識されるようになります。

対処方法 3

Windows 98/98SE/Meの場合、COMポートの設定が誤っている可能性が考えられます。

次のように操作してみてください。

① パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。

② Windowsのタスクバーにある[スタート]をクリックして[スタート]メニューを表示します。

③ [設定]を選択し、[コントロールパネル]を選択します。

④ コントロールパネルが表示されるので、[システム]アイコンをダブルクリックします。

⑤ [システムのプロパティ]画面が表示されるので、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

⑥ [デバイスマネージャ]タブが表示されるので、[ポート(COM/LPT)]の左に表示された[+]をクリックします。

⑦ [ポート(COM/LPT)]の下位に表示された[Ricoh Camera Port]をクリックして、[デバイスマネージャ]タブの下の方に表示されている[プロパティ]ボタンをクリックします。

⑧ [Ricoh Camera Portのプロパティ]画面が表示されるので、[Port Select]タブをクリックします。

⑨ [Port Select]タブが表示されるので、[PortName]で使用していないCOM番号を選択します。

現在カメラが割り当てされているポート（COM番号）の後ろには「*」がついています。

USBドライバのインストール直後には、COM7が選択されているはずですので、COM8以降いずれかを選択してください。

⑩ [OK]ボタンをクリックして[Ricoh Camera Portのプロパティ]画面を閉じます。

⑪ [OK]ボタンをクリックして[システムのプロパティ]画面を閉じます。

⑫ [×]（閉じる）ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。

対処方法4

カメラをUSBハブを経由して、パソコンに接続している場合は、カメラが正常に認識されていない可能性が考えられます。

次のようにUSBポートを変更してみてください。

- パソコン本体のUSBポートに直接つないでみます。
- ルートHUBが複数あれば、もう一方のポートに変更してみます。

なお、USB以外のハブを使用している場合には、USBハブを使用して接続し直してみてください。

対処方法5

電池が消耗している可能性が考えられます。

電池が消耗しているか確認して、消耗している場合には、新しい電池と交換してください。

対処方法6

パソコンのハードディスクの空き容量が足りない可能性が考えられます。

Windowsの動作に必要な空き容量と、それに加えて画像ファイル取り込み先ドライブにカメラ側のSDメモリーカードと同じ容量以上の空き容量があることを確認してください。

症状２　RICOH Gate La のオプション設定で、［保存時、同じ画像は保存しない］にチェックを入れていても、同じ画像がパソコンに取り込まれてしまうときには・・・

対処方法

カメラの時計の設定が正しくない、もしくはカメラの時計情報がリセットされてしまっている可能性があります。

[保存時、同じ画像は保存しない] の機能を正しく働かせるには、カメラの時刻情報を正しく設定する必要があります。カメラの時計情報を正しく設定してください。

症状３　カメラから取り込んだファイルをパソコン上で削除してしまったので、同じファイルを再度カメラから取り込もうとしたが、取り込むことができなかった。こんなときには・・・

対処方法

RICOH Gate Laのオプション設定で、[保存時、同じ画像は保存しない]にチェックマークが付いていると、一度取り込んだファイルはパソコンに取り込まれません。RICOH Gate Laのオプション設定で[保存時、同じ画像は保存しない]のチェックマークを外してください。

症状４　ImageMixerで動画が再生できないときには・・・

対処方法１

Caplioレスキューを起動して、メッセージに従って操作してください。

対処方法２

DirectXがインストールされていない可能性が考えられます。（Windows 98/98SE/Me/2000の場合）Caplio Software CD-ROMからDirectXをインストールしてください。

症状５　カメラをWindowsXPにUSB接続した時に「RICOH Gate La」を起動しないようにするには・・・

対処方法

カメラとパソコンをUSB接続し、Windowsタスクバーの「スタート」ボタンより「マイコンピュータ」を開きます。マイコンピュータの画面上のカメラのマークの上で右クリックし「プロパティ」をクリックして開きます。カメラのプロパティ画面を開き、「イベント」をクリックします。イベントページの「動作」の設定場所で「何もしない」または「実行するプログラムを選択する」をクリックし、［OK］をクリックしてください。「何もしない(T)」を選択すると、カメラをパソコンに接続したときに、何も動作が起きません。「実行するプログラムを選択する(P)」を選択すると、カメラをパソコンに接続したときに、画面が表示され、起動するプログラムを選択できます。

症状６　YUV-TIFFが画像編集ソフトで開けないときには・・・

対処方法

NCモードで撮影した非圧縮TIFFファイル（YUV-TIFF）は、一部市販のソフトウェアや印刷サービスなどで表示できないことがあります。その場合は、Windowsをお使いの方は同梱のImageMixerにてBMPファイルに変換してください。Macintoshをお使いの方は、iPhotoにて画像を加工後、ファイル形式を変換してください。

症状７　カメラからパソコンに画像を取り込んでいると「保存に失敗しました」と表示されるときには・・・

対処方法

カメラを再生にし、[表示できないファイルです] と画面に表示されるファイルがないか確認してください。[表示できないファイル] があった場合は、すべてのファイルをパソコンにバックアップ後、SDメモリーカード、または、内蔵メモリーから削除してください。ファイルをバックアップするには、市販のカードリーダーで直接コピーするか、カメラの USB 接続設定を [マスストレージ] にし、カメラの画像をすべてパソコンにコピーします。コピーしたら USB 接続設定を [オリジナル] に戻してください。